

かぬまの環境

第3次鹿沼市環境基本計画
鹿沼市地球温暖化対策地域推進計画
平成27年度実績報告書

鹿沼市

鹿沼市民憲章

美しい山や川にかこまれたさつきの花咲く鹿沼市は、
恵まれた風土と伝統のもとに栄えてきた産業のまちです。
わたくしたちは、このふるさとに誇りをもち、希望あふ
れるまちづくりをめざして、この憲章を定めます。

- 1 仕事に励み、健康で明るい家庭をつくります。
- 1 きまりを守り、思いやりのある住みよい社会をつくります。
- 1 自然を愛し、文化のかおる豊かなまちをつくります。

昭和 55 年 8 月 1 日制定

市花：さつき（昭和 47 年 4 月 1 日制定）

市木：杉（昭和 55 年 8 月 1 日制定）

目 次

はじめに	1
第1章 鹿沼市の概況	1
1 地勢	
2 気象	
3 人口	
第2章 環境行政の概況	3
1 鹿沼市環境基本条例	
2 鹿沼市環境基本計画	
3 第3次鹿沼市環境基本計画の概要	
第3章 環境施策の実施状況	6
1 環境問題の意識を高める	7
2 自然との共生を目指す	13
3 美しい水と緑の自然を継承する	16
4 環境への負荷を減らす	20
5 循環型社会への転換を目指す	25
重点施策にかかる数値目標一覧	27
第4章 地球温暖化対策地域推進計画の実績	29
第5章 地域別環境配慮行動計画の実績	35
資料集	
1 大気環境の状況	42
2 水環境の状況	43
3 騒音・振動の状況	50
4 ダイオキシン類の状況	51
5 ごみの総排出量とリサイクル率の推移	52
6 動植物の生息状況	53
7 環境審議会委員名簿	54
8 環境情報紙	55

環境都市宣言文

はじめに

本書は、鹿沼市における環境の保全等に関する施策の実施状況を明らかにするために、第3次環境基本計画に定めた計画の進捗状況をまとめたものです。市民の皆様の環境に対する関心をさらに高め、市民協働による環境保全の取り組みが推進されるための一助となれば幸いです。

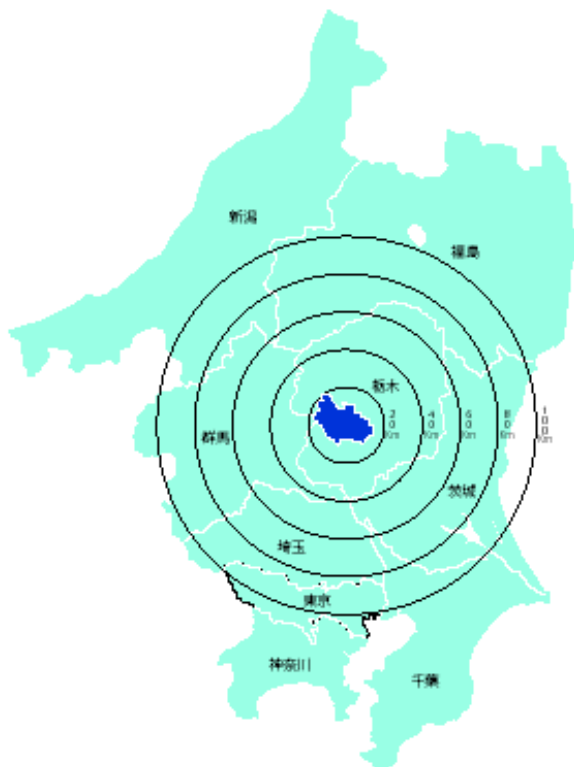
第1章 鹿沼市の概況

1 地勢

本市は、首都東京から100km圏にあり、北は国際観光都市・日光市、東は県都・宇都宮市に隣接しています。道路では、東北縦貫自動車道鹿沼インターチェンジを有し、鉄路では、東武日光線とJR日光線が通っています。

市域の約7割は森林で覆われており、西北部の山々を源として、大芦川、荒井川、栗野川、思川、永野川が、日光市からは黒川が南流し、山と高原や清流と溪谷のある美しい景観を成しています。

市街地は、黒川の河岸低地と東部高台及び思川と栗野川が合流する平地に形成されています。



鹿沼市位置図

位置・面積

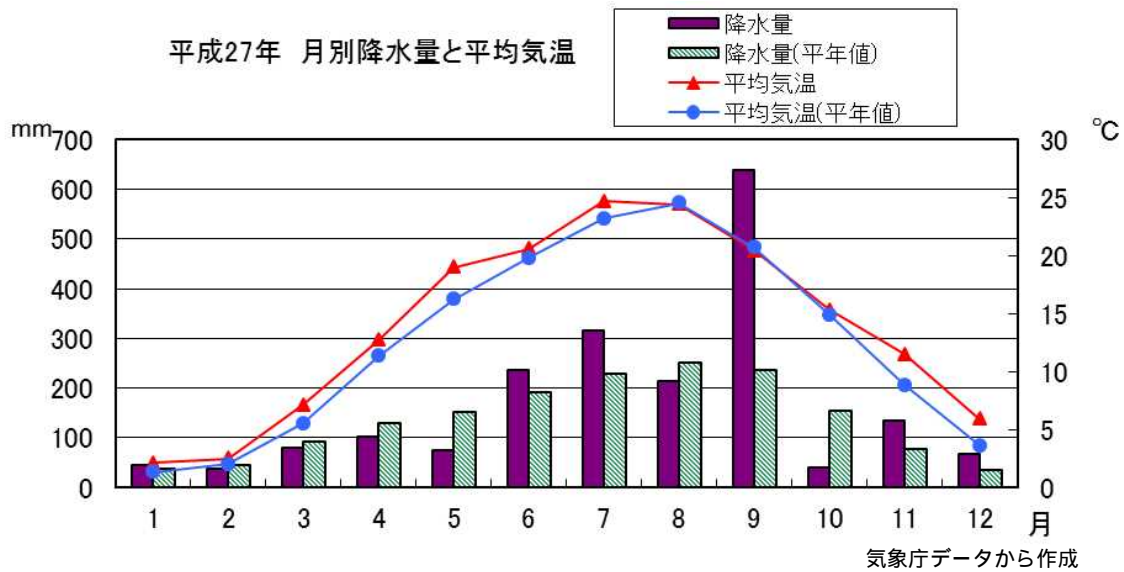
東 経：
139度28分02秒
139度50分08秒
北 緯：
36度27分29秒
36度42分43秒
海 抜：
148.8 m²（市役所）
面 積：
490.64 k m²

2 気象

本市の気候は、内陸のため寒暖の差がやや大きく、冬季の平地部の低温と夏季の雷の発生が特徴的です。

気象（平成 27 年中）

降水量：1,984.0mm（日最大：325.5mm）
 気温：13.9（最高 36.2 最低 -6.3）
 風速：1.5m/s（瞬間最大 17.9m/s）
 日照時間：2,003.8h



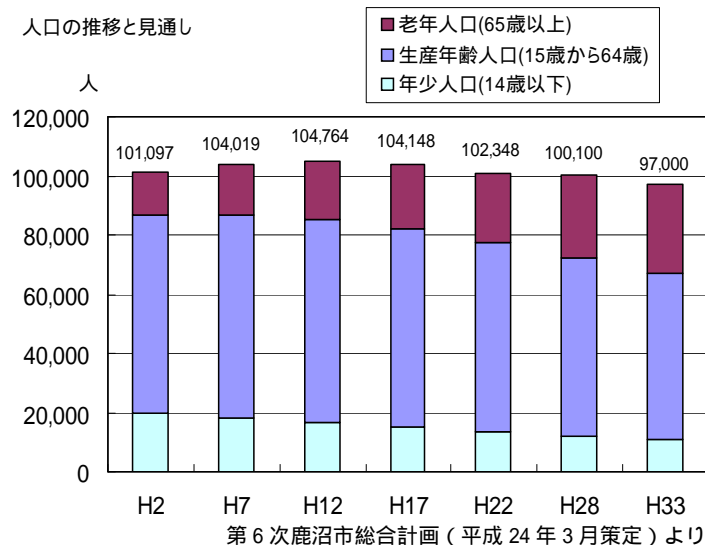
3 人口

本市の人口は、平成13年3月をピークに減少傾向が続いています。年齢構成では、年少人口の減少が著しく、一方で高齢人口の割合が高まり、この傾向が続くことが予想されます。

人口と世帯数（平成 28 年 4 月 1 日現在）

人口：98,350 人
 世帯数：36,387 世帯

人口の推移と見通し



第2章 環境行政の概況

1 鹿沼市環境基本条例

本市では、環境の保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、現在及び将来の市民の健康で安全かつ文化的な生活の確保に寄与することを目的として、平成12年12月に鹿沼市環境基本条例を制定しました。

本条例では、環境の保全についての基本理念や、市、市民、事業者のそれぞれの責務を明らかにするとともに、施策の基本方針を定めています。また、この条例のなかで、市が環境基本計画を定め公表することや、環境の状況及び環境の保全等に関する施策の実施状況について年次報告書を作成し公表することを規定しています。

2 鹿沼市環境基本計画

環境基本計画は、環境基本条例第9条に基づき、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくために策定しています。本市最初の環境基本計画は、平成12年3月に策定しましたが、平成18年1月に栗野町との合併があり、第5次鹿沼市総合計画のスタートにあわせ、平成19年度からは第2次環境基本計画を推進してきました。現在は、平成24年度から平成28年度を計画期間とした第3次鹿沼市環境基本計画をもとに、施策を進行しています。

H 12 . 3	鹿沼市環境基本計画 策定
H 12 . 12	鹿沼市環境基本条例 制定
H 16 . 1	環境都市宣言 告示
H 19 . 4	第2次鹿沼市環境基本計画 策定
H 24 . 3	第3次鹿沼市環境基本計画 策定

3 第3次鹿沼市環境基本計画の概要

(1) 計画の目標年次

平成 33(2021)年度を長期的に展望し、平成 28(2016)年度を目標年次としています。

(2) 基本理念

環境基本条例に定めた4つの基本理念の実現を目指しています。

1. 次世代への継承

市民の環境問題に対する意識の高揚を図り、健康で安全かつ文化的な生活を営むことのできる恵み豊かな環境を確保しながら、これを将来の世代に継承します。

2. 自然との共生

恵み豊かな自然環境と潤いや安らぎのある社会環境を確保し、これらと市民が共生できる生活環境を形成します。

3. 持続的な発展

環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な循環型社会を構築します。

4. 地球環境の保全

地球環境の保全を自らの課題として認識し、市民生活や経済活動等のあらゆる活動において環境負荷の低減を積極的に推進します。

(3) 基本的な方針

次の5つの基本的な方針にそって、環境施策を進めていきます。

1. 環境問題の意識を高めること
2. 自然との共生を目指すこと
3. 美しい水と緑の自然を継承すること
4. 環境への負荷を減らすこと
5. 循環型社会への転換を目指すこと

(4) 環境に関する市民の意識(アンケート結果)

平成 22 年度に市民 2,000 人(回答者数 817 人)にアンケートを実施し、市民の環境問題に関する意識や要望などを確認しました。

気になる環境問題については、

「不法投棄・ポイ捨て」(58.0%)「地球環境」(55.1%)が 50 パーセントを超えており、続いて「ごみ問題」(45.5%)「野生動物による農作物への被害」(39.7%)「川の水の汚れ」(37.3%)「空気の汚れ」(34.1%)の順に高い値を示しました。身近な環境問題に限らず、地球温暖化などの地球環境にも関心が高いことがうかがえました。

鹿沼市の環境についての満足度では、

「緑の豊かさ」(61.8%)、「水の豊かさ」(49.0%)、「空気のきれいさ」(48.8%)の項目で「たいへん満足」、「おおむね満足」とした回答が多い結果となり、自然環境に関する満足度が高い傾向がみられました。一方、「環境に関する学習の機会や情報の提供」(10.3%)で満足度が低い結果となりました。

鹿沼市に今後優先して取り組んでほしい項目では、

「自然環境・生態系の保全」(34.0%)、「適切な土地利用の確保(農地や山林など)」(27.8%)、「上下水道の整備」(25.9%)、「ごみの減量やりサイクルの推進」(25.5%)などが高く、自然環境や生活環境への取り組みについて望んでいることがうかがえました。「クリーンエネルギーの推進」(17.4%)についても比較的高い結果となりました。

これら市民の意見を参考に、積極的に課題に取り組み、鹿沼市全体の環境についての満足度が向上するよう環境施策を進めます。

平成 27 年度きれいなまちづくり標語 最優秀賞作品

小学校の部

「ムダじゃない 未来のための エコ活動」

中学校の部

「レジ袋 むだにももらわず エコバッグ」

第3章 環境施策の実施状況

この章は、第3次鹿沼市環境基本計画に基づいた環境施策の、平成27年度の実施状況をまとめたものです。環境基本計画では、5つの基本方針(大項目)の下に中項目・小項目を体系化し、小項目ごとに施策を展開し、総合的かつ体系的に基本方針の達成を目指しています。

大項目	中項目	小項目	
1 環境問題の意識を高める	(1)きれいなまちづくりの推進	きれいなまちづくり運動	
		(2)環境教育の推進	環境教育指導者の養成
			学校・幼稚園等における環境教育の充実
	社会教育における環境教育の充実		
	事業所における環境教育の推進		
	(3)環境と健康の推進	環境と健康の推進	
	2 自然との共生を目指す	(1)自然環境の保全	適正な土地利用
			生物多様性の保全
		(2)自然環境との調和	環境に配慮した生活空間づくり
景観の保全と創出			
自然環境と調和した産業振興			
野生動植物との共生			
3 美しい水と緑の自然を継承する	(1)水環境の保全	水資源の確保	
		水質の保全	
		生活排水対策	
	(2)緑環境の保全	緑地の保全と創出	
		緑化の推進	
4 環境への負荷を減らす	(1)生活環境の保全	環境管理システムづくり	
		大気への保全	
		土壌への保全	
		騒音・振動への対応	
		悪臭への対応	
		水質汚濁の防止	
		不法投棄の防止	
		放射能汚染対策	
	(2)地球温暖化対策	温室効果ガス排出量の抑制	
		省エネルギーの推進	
		クリーンエネルギーの導入の促進	
5 循環型社会への転換を目指す	(1)3Rの推進	ごみの排出抑制	
		資源の再利用・リサイクルの推進	
		ごみの適正処理	

1 環境問題の意識を高める

市民や事業者に対して環境保全活動や環境学習、環境情報の提供を積極的に推進して、環境問題の意識を高めながら、きれいなまちづくりを推進します。

(1)きれいなまちづくりの推進

きれいなまちづくり運動

きれいなまちづくり推進員の活動促進

協議会の支部会議及び6月29日に開催した全体会議において、活動内容や役割などの説明を行いました。また、支部長会議で協議し、推進員一斉清掃や環境講演会への協力等の活動を実施しました。

地域特性を生かしたきれいなまちづくりの実践

きれいなまちづくり推進員を中心として、各自治会や地域の美化団体等が連携し、地域での環境活動を推進しました。また、地域別環境配慮行動計画に基づき、各地区で不法投棄防止活動や河川の清掃活動などを実施しました。

環境美化活動の展開と連携

5月17日と9月27日の「環境美化の日」に、地域清掃活動等を実施しました。

環境美化推進モデル地区(9地区)、きれいな鹿沼登録団体(26団体)、フラワーロード実施団体(10団体)などへの支援を行い、環境美化の推進を図りました。また、きれいなまちづくり推進員を中心に、自治会等の各地域の団体と連携し、清掃活動や花いっぱい運動等の環境美化活動を実施しました。

市内の小学校4年生から中学校3年生までを対象にし、環境に関する標語を募集し、優秀作品の表彰を行いました。小学校の部2,134点、中学校の部2,743点の応募があり、その中から、小学校の部では、最優秀賞1点、優秀賞27点、中学校の部では、最優秀賞1点、優秀賞10点を選出しました。

犬、猫などのペットのマナーについて、広報かぬま及びホームページによる啓発や、チラシや看板による啓発を行いました。

「環境クリーンセンター市民利用の日」(毎月第1・3日曜日)に家庭ごみの搬入受入れを行いました。また、大量のごみの排出が見込まれる年末にも、家庭ごみの受け入れを実施しました。

管理不全な状態の空き家等に対して、「鹿沼市空き家等の適正管理に関する条例」に基づく指導等を行いました。



きれいなまちづくり推進員による
一斉清掃

12月5日に開催した環境講演会
では、きれいなまちづくり標語等
の表彰を行いました。



(2) 環境教育の推進

環境教育指導者の養成

人材・教材の充実と環境学習の体制づくり

かぬま生涯学習大学では、市民の環境意識を高めることを目指し、「自然・環境コース」を設置しています。かぬま生涯学習大学講座一覧を年3回(5月26日、8月25日、2月25日)発行し、また、ホームページの講座・イベント案内システムにより学習機会の周知を図りました。

子どもたちの環境学習の資料として、環境に関する様々な情報や身近な環境問題等について記載した環境学習副読本「わたしたちのくらしと環境」を作成し、市内の小学4年生に配布しました。

環境学習リーダーの育成

かぬま生涯学習大学の講座をとおして、環境学習指導者養成コースを開催しました。基礎課程を13人、指導技術課程を3人が受講・修了し、環境学習リーダーの認定を受けた修了生は44人になりました。



環境学習講座
(基礎課程)の
受講風景

学校・幼稚園等における環境教育の充実

こども達への環境学習・教育の推進

東小学校でこども環境学習出前講座を開催し、101人が「川からわかる鹿沼の環境」について学びました。

環境学習推進校として8校を指定しました。指定校においては、省資源省エネルギーに努め、環境に視点をあてた学習や環境教育の実践が行われました。

鹿沼市内の児童生徒2,030人が、自然体験交流センターにおいて自然生活体験学習を実施しました。また、わくわくネイチャー事業を6回開催しました。

社会科副読本による郷土理解学習を実施し、ふるさとについての理解を深めました。

市内小中学校の緑の少年団が行う自然観察や木工工作等、森林環境学習活動へ補助金を交付しました。

緑化及び森林愛護作文・ポスターコンクールには、254点の応募がありました。入賞作品のポスター・作品集を作成・配布したほか、入賞作品の展示会を実施しました。

社会教育における環境教育の充実

市民の意識を高める環境学習の推進

8月23日に、ふれあいみどりの村「田んぼの生き物観察会」を開催しました。

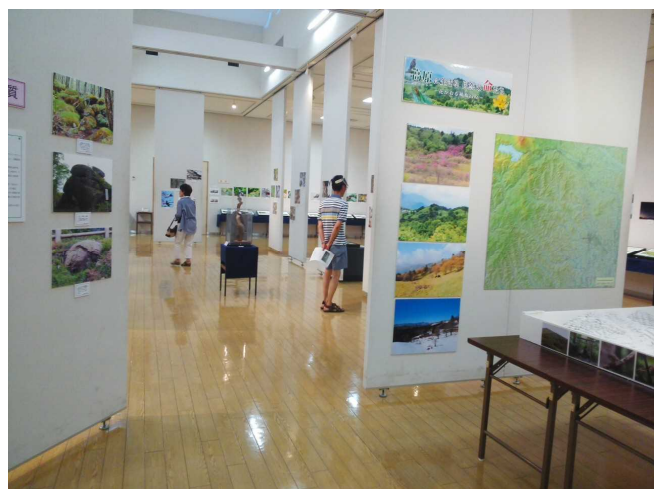
12月5日に鹿沼市民文化センターで環境講演会を開催しました。気象予報士の平井信行氏による講演『自然環境と地球の未来』に、440人が来場しました。講演会のあと鹿沼市緑化推進委員会による花の苗(プリムラジュリアン)の配布を行いました。

自然・環境保全の大切さを理解してもらうため、昆虫標本 10,000 点余(1,200種)の整理・分類を行い、「野山に生きる自然の命たち」と題した展示会「自然はともだち展」を、7月26日から8月16日の期間に鹿沼自然観察会と共催で行いました。



ふれあいみどりの村の「田んぼの生き物観察会」で、生き物について学ぶ子どもたち

文化活動交流館で開催された昆虫標本などの展示会「野山に生きる自然の命たち～」



合併10周年記念

環境講演会

12月5日(土) 開場 13:00 開演 13:30

会場: 鹿沼市民文化センター小ホール

講師: 平井信行氏 (気象予報士)

演題: 「自然環境と地球の未来」

入場無料 定員300名(先着順)

イベントスケジュール

時間	内容
13:30~	セレモニー(きれいなまちづくり標語・花壇コンクール表彰式)
14:15~	講演会

ロビーでのパネル展示、クイズラリー、ごみ分別ゲームも実施。来場者には合併10周年記念名入れボールペンをプレゼント!! また、講演会終了後に花の苗を無料配布します。※数に限りがあります。

もったいないアイテムで景品GET
会場では下記の物品を回収します。お持ちいただいた方には景品をプレゼント!!

- ペットボトルキャップ
- 使用済み小型家電
- ・ノートパソコン・携帯電話・PHS・電話機
- ・スマートフォン・ビデオカメラ
- ・デジタルカメラ・携帯ラジオ など

※家電リサイクル法で指定されている家電4品目(テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・乾燥機)は対象外です。

回収できない品目もありますので、詳しくはお問い合わせください。

※景品の数には限りがあります。

※当日は、手話通訳・要約筆記者を配置します。

※駐車場の空数に限りがありますので、相乗りのご来場にご協力ください。

問合せ先: 鹿沼市環境活動推進会議事務局(鹿沼市環境課内 TEL:0289-65-1064) E-mail: envinfo@city.kanuma.lg.jp

主催: 鹿沼市環境活動推進会議、鹿沼市(共催)

後援: (株)下野新聞社(株)らちテレビ、鹿沼ケーブルテレビ(株)、NHK宇都宮放送局(株)エフエム栃木(株)栃木放送・栃木県・鹿沼市自治会連合会・鹿沼市教育委員会

協賛

鹿沼資源回収事業協同組合
鹿沼市緑化推進委員会
(合)エコシティかぬま協議会
星野工業(株)
特定非営利活動法人ぶうめらん
王子齋藤紙業(株)
川崎重工業(株)東京本社
(株)新成エンジニアリング

(株)アクアテック	(株)環境テック
サンエコーサル(株)	トリコ(株)
バスキン工業(株)	(株)ヒーロー
平成理研(株)	鹿沼ぐらしの会
エコネットかぬま	NPOの鹿沼協会
(株)鹿沼教材社	美羅台エレガンスクラブ
栃木ダイハツ販売(株)鹿沼店	新栃木ヨタ自動車(株)鹿沼店
西茂昌南自治会	(有)マツヤ

環境講演会のリーフレット。
気象予報士の平井信行氏
が講師を務めました。

環境講演会は多くの来場者
で満席となりました。



環境情報システムの確立

環境施策の進捗状況や各種データなどをまとめた「かぬまの環境」を作成し、小中学校や図書館に配布した他、ホームページに掲載しました。

事業所における環境教育の推進

企業の環境行動の推進

事業者の環境配慮を推進するため、中小企業者が ISO 等認証取得をするための支援を行いました。平成 27 年度は、市の支援で認証取得した企業はなく、累計での支援実績は、ISO が 43 社、エコアクション 21 が 4 社となりました。

(3) 環境と健康の推進

環境と健康の推進

有害物質対策の推進

市有施設で使用されていた PCB 含有製品は適切な保管をしています。平成 27 年度は、保管している高濃度 PCB のうち高圧コンデンサ 7 台及び蛍光灯安定器 911.3kg の処分を実施しました。

環境中のダイオキシン類の調査並びに廃棄物処理施設からのダイオキシン類測定(環境クリーンセンターを含む)を実施しました。

食育の推進

食育推進計画に基づき、市内 17 地区においてそれぞれの地区の会員が、子どもを対象とした料理教室や男性向けの料理教室などの食生活改善事業を実施しました。また、学校においては、特別非常勤講師(栄養教諭等)による食の指導を実施しました。

地産地消教育の充実のため、市内全小中学校の学校給食において、「かぬま和牛」や本市特産物を使った“さつきランチ”(月 1 回)を提供することで、地元生産者から食材を購入しました。その他、小学校 9 校、中学校 1 校で地元生産者との交流事業を実施しました。

かぬまブランド認定においては、いちご・にら・トマト・なし・さつきポーク・かぬま和牛・さつきの舞(米)・鹿沼そば・里山まいたけ・麻・板荷茶の 11 品目が鹿沼産農畜産物として認定されています。

愛護動物の管理

動物の愛護思想の普及のため、ペットのマナー啓発と合わせて広報かぬま及びホームページで啓発を行いました。

2 自然との共生を目指す

鹿沼市の美しい自然は、市民ばかりでなく、すべての人々にとって大切なものです。自然との共生を基本としながら、身近な自然とのふれあいの場を創出するなどその保全と活用、自然との調和を目指した産業の展開を図ります。

(1) 自然環境の保全

適正な土地利用

土地利用の総合調整

「鹿沼市総合計画」等に基づき、一定規模以上の土地を利用する場合に係法令等による手続の前に事前調整、事前協議により総合調整を行いました。また、事前相談(13件)及び事前協議(1件)において適正な指導を行いました。

また、企業誘致基本方針に基づき、工場適地への適正誘致活動を行いました。

地籍調査推進体制の構築

地籍調査は、平成27年度に基本計画を策定し、平成28年度から事業に着手することを決定しました。

生物多様性の保全

動植物の適正把握

市内自然・地理資料について、「深津のザゼンソウ群落」個体数調査を実施しました。また、栃木県指定天然記念物については毎月巡視を行いました。

生態系、生息地若しくは種を脅かす特定外来生物への対策として、各地区において、アライグマ用(ハクビシン兼用)の箱罠を活用した捕獲を推進しました。

動植物の生息・生育環境保全と創出

横根高原保全・活用協議会において、井戸湿原に帯工を施工し、水位を上昇させることにより、生物多様性の保全と活性化を図りました。

生息環境に配慮した農業基盤整備事業を推進するため、県営深津地区圃場整備事業地内において、動植物の生息環境に配慮した湿地、及び水路の整備を行いました。

(2) 自然環境との調和

環境に配慮した生活空間づくり

魅力ある都市づくり

鹿沼市の都市計画に関する基本的な方針として策定した「都市計画マスタープラン」に基づき、都市計画の観点から見た総合的なまちづくりの施策を推進しています。

新鹿沼駅西地区において、土地区画整理事業の完了に向けて整備を進めました。

雨水対策事業として、公共下水道雨水計画に基づいた雨水管布設、調整池築造工事を施工しました。

鹿沼市の住宅施策の基本的な方針となる第二期「住宅マスタープラン」を平成27年度に策定しました。

【住宅マスタープラン基本目標】

- 安全・安心に暮らせる住まいづくり
- 快適に定住できる住まいづくり
- 鹿沼の魅力を活かした住まいづくり
- 安定した生活を営む住まいづくり

安全な建物環境づくりのために、耐震診断に対する経費助成事業及び耐震診断を職員が無料で行う『簡易耐震診断』を実施しました。また、個別訪問による耐震診断と耐震改修の普及啓発を行いました。

平成27年度見笹霊園整備工事を実施し、新規墓域を整備しました。

美しい農山村づくり

「鹿沼市人・農地プラン」を推進するため、検討会を実施し、各地域の人・農地プランを更新しました。

菜園付き住宅広場等の維持管理について、地元管理委員会と締結した管理協定に基づき、維持管理を行いました。

農道2地区、総延長1.6kmを整備し、農業者の定住を促しました。

山村振興計画に基づき、道路整備、林道整備、栗野小学校整備などの事業を推進しました。

森林経営計画8件を認定しました。

景観の保全と創出

街道景観の形成

車両誘導サインや地図型サインなど、景観に配慮した観光施設案内看板 6 箇所を整備しました。

都市景観の形成

中心市街地の幹線道路に設置されている街路灯を利用し、市民や来訪者がきれいな花を楽しめるフラワーロード(5 路線 2,300m、126 基)や個人の庭や店先のガーデニングスペースを開放するオープンガーデン(19 箇所)を推進しています。壁面景観の統一や歩道のセットバックにより優良な街並みを形成し、街づくりと商業振興の促進を図っていますが、平成 27 年度の「まちなみづくり事業補助金」の交付はありませんでした。

農山村景観の形成

土地改良事業においては、景観に配慮した圃場整備事業を 3 地区で行いました。多面的機能支払交付金の活用により、28 組織が共同活動に取り組み、農地・水路等の農村環境保全管理活動を行いました。

また、地域の特性を生かした多様な地域間交流の促進のため、市内 11 地区において、生き物観察会を実施しました。

文化財指定史跡・天然記念物の保存

地域の歴史や文化の保存・保護のため、判官塚古墳の草刈りを行いました。

自然環境と調和した産業振興

環境保全関連産業等の育成

環境保全型農業、地域還元型農業を推進し、農業用廃ビニールを 237t 回収し、100%リサイクルしました。

国・県の補助事業の活用を促進し、立木等の獣害防除対策を実施しました。

野生動植物との共生

種の多様性の保全と野生鳥獣による被害防止対策の充実

鹿沼自然観察会の協力により、市内に生息する動植物のリストを作成・刊行しました。

とちぎの元気な森づくり県民税事業を活用し、各地区の自治会等で里山の整備(6.03ha)、管理(73.69ha)を実施しました。

有害鳥獣被害の防止策として、野生鳥獣対策協議会によるワイヤーメッシュ柵 27km の設置、農産物生産等総合推進事業として電気柵等設置の補助 81 件を実施しました。

3 美しい水と緑の自然を継承する

森林や河川は、私たちに潤いや安らぎの場、生活の場を提供しています。鹿沼市の特性であり私たちの生活に密着したこの美しい水と緑の自然を、継承します。

(1) 水環境の保全

水資源の確保

水資源の確保

安定した水源の確保のため、新規取水井の開発や既存取水井の改修の手法について検討を行いました。

水源涵養のための保安林面積は 13,700ha となりました。

農業用水の安定確保のため、10 団体へ農業用水路の補修材料を支給しました。

水資源の利用

上水道事業の給水区域内において、配水管の新設工事延長 8,836.1mを実施しました。

簡易水道事業の給水区域内において、配水管の新設工事延長 610.0mを実施しました。

節水の推進を図るため、漏水修繕 1,157 件及び漏水調査 287 kmを実施しました。

雨水の有効利用

雨水の有効利用のために市民が設置する雨水浸透柵、雨水貯留槽に対する補助を実施しました。(浸透柵:2 箇所(計 5 基)、貯留槽:【市販専用製品】3 箇所【自主製作品】1 箇所)

水質の保全

水道水の水質保全

水道水の水質管理のため、クリプトスポリジウム及び指標菌の検査を実施しました。また、浄水場設備の整備のため、水質管理目標設定項目等の検査を実施しました。

地下水の水質保全

38 箇所、13 項目について定期的な地下水検査を実施し、市内地下水の状況把握を行いました。

地下水汚染地域については調査を実施し、継続的な監視を行いました。

一般廃棄物最終処分場周辺地下水の定期的な地下水検査(毎月 1 回)を実施し、施設周辺地下水の状況把握を行いました。

公共用水域(河川)の水質保全

黒川など 12 河川の公共用水域について、理化学調査(BOD、COD 等)及び水生生物調査を実施しました。

準用河川瀬戸川において、河川機能を維持するための改修工事を実施しました。

多面的機能支払交付金を活用し、28 組織が各地域において、用排水路等の草刈りや堀浚い、簡易的な補修を実施しました。

愛りバーとちぎ実施団体による草刈りなどが行われたほか、河川愛護会による清掃活動などにより公共用水域の維持管理及び環境美化を図りました。

生活排水対策

下水道施設の整備

公共下水道事業計画に基づき污水管布設工事を 1,761m 施工しました。

菊沢西地区農業集落排水事業推進検討委員会において、接続率を上げるために、加入促進PRを実施しました。

個人が設置する浄化槽設置を促進するため、合併処理浄化槽設置数:5 人槽 50 基、7 人槽 46 基、10 人槽 3 基、計 99 基に対し補助を行いました。内、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切替に対する上乗せ補助金の利用は 8 基ありました。

水洗化普及のために 118 戸に対し戸別訪問を実施しました。

(2) 緑環境の保全

緑地の保全と創出

森林の保全と創出

森林の再生と林業・木材産業の振興のため、平成 25 年度から平成 29 年度の 5 か年間を計画期間とする「鹿沼市森林・木材活用プラン」の各施策を推進しました。

土砂流出防備のため保安林の指定を 6ha 拡大し、保安林面積は全体で 16,677ha となりました。

間伐の推進により、普通林 728.04ha の間伐を実施しました。

森林の保全

とちぎの元気な森づくり県民税事業を活用して、各地域においてボランティア計 261 人が参加し、里山の下草刈り、植林、樹木の手入れなどの事業を実施しました。



里山での植林活動の様子

平地林の保全

野鳥の森の管理 6.90ha を実施しました。

農地の保全と創出

農業振興地域整備計画を推進しました。

耕作放棄地 2.55ha を解消し、解消後の農地にそば等を作付することにより有効利用を図りました。

水辺緑地の保全と創出

準用河川瀬戸川において、多自然型工法による護岸を実施しました。

河川愛護会により河川の保全活動を実施しました。

緑化の推進

緑の基本計画の推進

総合的かつ計画的な緑地の保全と緑化の推進を図るため、平成 26 年度に実施したアンケート調査や委員会での検討等によりまとめた緑の課題と方針に基づき、平成 27 年度に「鹿沼市花と緑と清流のまちづくり基本計画」を策定しました。

一部の公園等において、日常の管理や清掃を地元の自治会等に協力いただき、住民を主体とした維持管理を実施しています。

公園の緑化

「緑の基本計画」に基づき、総合的な緑化推進を進めています。

公園緑地の維持管理に関しては、専門業者への委託により樹木の薬剤散布及び除草を、また自治会等の協力やシルバー人材センターへの委託により日常管理及び除草をそれぞれ実施しました。

公共施設の緑化

公共施設の緑化のため、総務部秘書課において、前年に取れた種から育てたゴーヤとフウセンカズラで、グリーンカーテンを実施しました。

各学校において、「花いっぱい運動」を実施しました。

道路の緑化

市内を5つのブロックに分け、街路樹維持工事を実施しました。

宅地の緑化

家庭緑化用苗木の配布会を3回開催しました。春にはまちの駅新鹿沼宿で300本、秋にはふる里あわの秋祭りで400本、冬には環境講演会で350株を配布しました。

工場、事業所の緑化

新規立地企業等に対し、工場立地法に準拠し適切な緑地配置及び面積確保の指導を行いました。



ふる里あわの秋祭りでの
緑化用苗木の配布会

4 環境への負荷を減らす

市民・事業者のそれぞれが主体的に環境に及ぼす影響を管理し、環境への配慮した行動をすることによって、環境への負荷の少ない持続可能な発展を目指します。また、地球温暖化対策への取り組みを進展させるとともに、省資源・省エネルギー対策と自然エネルギーの利活用を進めます。

(1) 生活環境の保全

環境管理システムづくり

環境管理システムづくり

事業者に対し、立地する周辺住民との環境保全協定の締結を推進し、186 社が協定を締結しました。

大気の保全

大気汚染防止対策

ばい煙対策については、県と連携し、関係事業所への立ち入り検査等を実施し、指導を行いました。

野焼き対策に関しては、ホームページ等による野焼き禁止の啓発や環境パトロールを実施し、状況に応じて現地指導等を実施しました。

光化学スモッグ対策では、県と連携し、状況の把握に努めました。

有害大気汚染物質対策として、県と連携し、PM2.5(微小粒子状物質)の状況の把握とホームページ等による啓発活動を実施しました。

交通対策

公共交通機関であるリーバスを 12 路線運行しました。

公用車におけるクリーンエネルギー自動車(ハイブリッドカー1 台)の入れ替えを実施しました。

アスベスト対策

建築物解体現場のパトロール及び指導を行い、法令の周知及び遵守の徹底を図りました。また、建築物の解体、廃棄の際の法令周知と遵守及び市民に対する情報提供と啓発を行いました。

土壌の保全

土壌汚染防止対策

土砂等の埋立て箇所と合わせて現地の状況を把握し、関係部局と連携しながら土壌汚染の防止に努めました。県と連携し、土壌汚染対策法対象事業所の把握に努めました。

土壌に係るダイオキシン類等の測定を調査地点 1 箇所で行いました。

騒音・振動への対応

騒音・振動防止対策

道路騒音調査地点 3 か所で、道路における環境基準の達成状況を確認しました。

悪臭への対応

悪臭対策

公共施設の悪臭対策では、環境クリーンセンターのごみ処理・し尿処理施設の継続的な臭気対策として、臭気が外に漏れないよう、ごみ投入扉を長時間開けずこまめな開閉を実施しました。また、堆肥化センターにおいて、悪臭防止・発酵促進に効果がある環境浄化微生物を散布し、臭気の軽減を図りました。

悪臭関連施設を有する特定事業所に対し、指導を実施しました。

畜産関係の悪臭対策について、関係機関と連携しながら適切な管理の指導を実施しました。

水質汚濁の防止

水質汚濁・地下水汚染の防止

15 の特定事業場等の排水調査を実施し、状況に応じて県と連携し、工場・事業所への指導を行いました。

異常水質が発生した 9 件について、県、消防等の関係機関と連携し、異常水質の拡大防止に努めました。

黒川終末処理場放流水質、環境クリーンセンター放流水質、一般廃棄物最終処分場放流水質の検査を定期的を実施しました。

不法投棄の防止

不法投棄防止対策

不法投棄者への指導等 1 件、空き地等の適正管理指導 37 件を実施しました。

4 班 8 人体制による環境パトロール班及び、きれいなまちづくり推進員等による監視を実施しました。

自治会等地元住民の協力を得て、清掃活動「クリーン鹿沼」を 25 箇所実施しました。また、環境パトロール班を中心に 389 回のミニクリーン鹿沼(不法投棄撤去等清掃作業)を実施しました。

放置自転車対策

放置自転車 81 台を撤去しました。



1月17日に奈良部地区で
実施したクリーン鹿沼

放射能汚染対策

放射能のモニタリング

市民から持ち込まれた販売用や自家消費用の農林産物等の放射性物質の測定をしました。

下水汚泥と燃やすごみ焼却灰の放射性物質濃度を定期的に測定しました。公共施設等の空間放射線量についても、市庁舎をはじめとした市所有の公共施設のほか、公立・民間保育園、私立幼稚園等においても定期的に測定しました。

市民の自宅等身近な生活環境の空間放射線量の測定について、空間放射線量測定器を市民に貸し出し、市民自ら行う測定及び局所的除染を支援しました。

ホームページで「市内の空間放射線量」、「農林産物等の放射性物質モニタリング状況」、「公共施設の空間放射線量」、「公共施設の除染状況」等について、市民に情報を提供しました。

放射能の除染等

民間宅地等について、一部除染を行いました。また、風評被害への対応として、市民からの問い合わせに対し、情報を提供しました。

市民に貸し出している
空間放射線量測定器



(2)地球温暖化対策

温室効果ガス排出量の抑制

地球温暖化対策地域推進計画の推進

環境部においては、太陽光発電設備設置補助やごみの減量化等による温室効果ガス排出量削減の施策を行いました。また、全庁的に、昼休み時の事務室内の消灯、コピー用紙の両面使用などの庁内もったいない運動を推進しました。

前年度の温室効果ガス排出量について、ホームページによる公表や環境審議会にて報告を行いました。

省エネルギーの推進

省エネルギーの推進

広報かめまやホームページを活用して、広く市民や事業者へ省エネルギーの普及啓発を行いました。また、家庭での節電対策を応援し、市民一人ひとりの省エネ意識の高揚を図るため、「節電コンテスト」を実施しました。

市役所においても、昼休みの消灯、夏期のクールビズや冬期のウォームビズなどの推進のほか、本庁舎や消防庁舎ではデマンドアラーム設置による冷暖房等のエネルギー使用量削減も積極的に実施しました。

商店会等が維持管理する街路灯や新規防犯灯設置について、LED化を促進しました。自治会より要望のあった新規防犯灯設置について、LED防犯灯を95基設置及び自治会等の管理する防犯灯をLED化整備事業によりLED防犯灯に1,308基交換しました。



オリジナルのクールビズで
勤務する職員

クリーンエネルギーの導入促進

クリーンエネルギーの利用

公共施設においては、加蘇コミュニティセンターに太陽光発電設備(10.26kW)及び蓄電池設備(11.2kWh)を設置しました。また、民間事業者との協力により、黒川終末処理場で下水汚泥を処理する際に発生する消化ガスを利用したバイオガス発電を開始しました。

一般家庭に対しては、家庭での再生可能エネルギー設備の導入を促進するため、設備設置費用の一部を131件に対し補助しました。

民間事業者に対しては、大規模太陽光発電施設の設置費用について、4件の補助を行いました。また、県との協力により、河川活用発電サポート事業において河川における小水力発電を支援しています。

ごみ焼却熱の利用

ごみ焼却処理施設に発電機を導入し、160kWの発電を行い、施設で使用する電力の一部を賄いました。



加蘇コミュニティセンターの屋根に設置された太陽光パネル

バイオガス発電を行う黒川消化ガス発電所



5 循環型社会への転換を目指す

資源の有限性を踏まえ、3R 原則により廃棄物の減量化、再資源化を推進するとともに、省資源化を促進し、循環型社会の構築に向けて取り組みを進めます。

(1) 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進

ごみの排出抑制

ごみ減量の推進

ごみ減量のための教育・啓発のため、5種14分別の出前講座を年4回実施し、外国人を含むのべ103人の市民が参加しました。また、市内小学校3・4年生による施設見学会を実施しました。

基幹的設備改良工事のため環境クリーンセンターのすべての焼却炉の運転が停止した平成27年9～10月において、「ごみ減量化強化月間」として市民の協力をお願いしたところ、この2か月間だけで、604t、前年同期比13.4%もの減量化を達成し、処理費用を節減することができました。

事業系ごみの減量化のため、搬入時の監視や事前相談における指導により、多量排出事業者への監視・指導等を実施しました。また、事業系ごみのうち、その他プラスチック製容器包装やダンボール、ペットボトル等の受け入れにより資源ごみ分別を推進しました。

生ごみ処理機及びコンポスト容器を活用することで、生ごみの減量化を図ることを目的として、処理機又は容器の設置者に対してその購入費の一部について54基分を補助しました。

資源の再利用・リサイクルの推進

リサイクルの推進

環境講演会等のイベントや広報かめまによる啓発を実施しました。

建設資材・廃材のリサイクル

建設工事で発生した建設廃材については、再生資源としてその種別に応じた有効利用を図っています。

各種廃棄物のリサイクル

堆肥化センターにおいて、搬入された家畜排泄物 9,229t、汚泥 8t、木屑関係 287t、副資材 396t を処理しました。

農業用廃ビニールについて、237t を回収し、100%リサイクルしました。

資源の再利用の促進

市民のリサイクルの推進及び意識啓発のため、NPO 法人ふうめらんが行うフリーマーケットや親子エコ教室等の活動を支援しました。

粗大ごみとして環境クリーンセンターに搬入された自転車を修繕し、リサイクルショップふうめらんで廉価で販売しました。

ごみの適正処理

ごみステーションの適正配置

きれいなまちづくり推進員及びごみステーション管理者と連携し、違反ごみの処分など管理を実施しました。

ごみの適正処理

広報かぬま、出前講座、鹿沼ケーブルテレビ等を利用し、5 種 14 分別や出し方等の広報周知を実施しました。

野焼き等の不適正処理に対しては、環境パトロール等により現地を確認し、適正な指導を実施しました。

事業者が廃棄物の適正処理を実施できるように、指導や搬入時の検査を実施しました。

ごみステーションにおける資源物の抜き取り防止のため、毎週水曜日にパトロールを実施しました。また、団体による資源ごみの集団回収を実施しました。

ステーション収集については、平成 25 年度から完全民間委託となりました。

環境クリーンセンターのごみ焼却施設において、長寿命化のための基幹的設備改良工事を平成 26 年から 2 か年に亘って実施し、平成 28 年 3 月に新炉 2 基が完成しました。

鹿沼市外一般廃棄物の市内処分等に関する事前協議要綱に基づき、事前協議内容について適正に審査しました。

高齢化の進展へのあり方の検討
ごみ出しが困難な高齢者に対する
戸別収集事業を市内全域で実施
しました。

改良工事中の環境クリーンセンターごみ焼却施設



重点施策にかかる数値目標一覧

番号	大項目	中項目	小項目	施策名	行動内容	項目	担当部	現状値 (H22)	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	目標値 (H28)	目標値 (H33)
1	1 環境問題の意識を高める	(1) きれいなまちづくりの推進	きれいなまちづくり運動	環境美化活動の展開と連携	環境美化推進団体（きれいなっと鹿沼登録団体等）への支援	環境美化推進地区数	環境部	85団体	17地区	17地区	17地区	17地区	17地区	17地区
2		(2) 環境教育の推進	学校・幼稚園等における環境教育の充実	子ども達への環境学習・教育の推進	子ども環境学習出前講座の開催	子ども環境学習会出前講座（年間）	環境部	60人	85人	162人	131人	101人	1,000人	1,000人
3					環境学習推進校の実施	環境教育推進校指定	教育委員会事務局	9校/年	7校 (累計)7校	7校 (累計)14校	7校 (累計)21校	8校 (累計)29校	(累計)37校	
4					自然生活体験学習事業の実施	自然生活体験学習参加児童・生徒数（年間）	教育委員会事務局	2,053人	1,812人	1,940人	1,946人	2,030人	1,793人	1,715人
5								わくわくネイチャー事業開催数	年6回	年6回	年6回	年6回	年6回	年6回
6					社会科副読本により郷土理解学習の実施	郷土理解教育副読本活用	教育委員会事務局	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
7					緑の少年団活動支援	緑の少年団（補助金交付支援団体）	経済部	43校(団体)	41校	37校	9校	7校	37校	37校
8								森林愛護作文・ポスターコンクール応募数	351点	290点	284点	322点	254点	300点
9	2 指す 自然 目と	(2) 自然環境との調和	環境に配慮した生活空間づくり	魅力ある都市づくり	市街地の整備	土地区画整理事業面積	都市建設部	249.6ha	250.7ha	250.7ha	280.3ha	280.3ha	280.3ha	309.2ha
10					雨水対策事業の推進	雨水排水管路整備面積	環境部	511.9ha	523.4ha	526.0ha	526.7ha	526.7ha	760ha	870ha
11	3 美しい水と緑の自然を継承する	(1) 水環境の保全	水資源の確保	水資源の利用	給水区域の拡張（上水事業の拡張）	上水道給水人口	水道部	78,055人	78,549人	78,995人	79,500人	80,225人	86,035人	86,240人
12					給水区域の拡張（簡易水道事業の拡張）	簡易水道等給水人口	水道部 経済部	9,568人	9,392人	9,230人	9,062人	8,973人	13,310人	13,310人
13			水質の保全	公共用水域（河川）の水質保全	公共用水域の定期的な検査の実施	環境部	理化学調査	12河川 21箇所 15項目	12河川 21箇所 15項目	12河川 21箇所 15項目	12河川 21箇所 15項目	12河川 21箇所 15項目	12河川 21箇所 15項目	12河川 21箇所 15項目
14							水生生物調査	12河川 26箇所	12河川 26箇所	12河川 26箇所	12河川 26箇所	12河川 20箇所 26箇所	12河川 26箇所	
15		生活排水対策	下水道施設の整備	栃木県生活排水処理構想に基づく整備計画の推進（公共下水道の整備）	公共下水道処理区域	普及人口	60,276人	60,583人	60,813人	62,725人	62,343人	58,579人	57,029人	
						普及率	58.8%	59.3%	60.1%	62.5%	62.5%	58.9%	59.2%	
						水洗化人口	50,643人	55,949人	56,566人	58,930人	58,553人	50,613人	50,414人	
	水洗化率					84.0%	92.4%	93.0%	93.9%	93.9%	86.4%	88.4%		
16	生活排水対策	下水道施設の整備	栃木県生活排水処理構想に基づく整備計画の推進（地域に応じた下水道施設の整備）	農業集落排水事業	普及人口	3,986人	4,204人	4,251人	4,190人	4,075人	3,894人	3,774人		
					普及率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
					水洗化人口	2,821人	3,381人	3,461人	3,438人	3,413人	2,991人	3,050人		
					水洗化率	70.8%	80.4%	81.4%	82.1%	83.8%	76.8%	80.8%		
17				栃木県生活排水処理構想に基づく整備計画の推進（個人が設置する浄化槽設置整備の促進）	浄化槽設置数	環境部	3,186基	3,508基	3,642基	3,789基	3,888基	4,590基	5,640基	

番号	大項目	中項目	小項目	施策名	行動内容	項目	担当部	現状値 (H22)	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	目標値 (H28)	目標値 (H33)
18		(2) 緑環境の保全	緑化の推進	緑の基本計画の 推進	公園緑地の整備	都市公園面積	都市建設部	109.62ha	109.76ha	110.86ha	111.00ha	111.01ha	111ha	112ha
19						その他公園面積		47.42ha	47.50ha	47.55ha	47.58ha	47.58ha	48ha	48ha
20	4 環境 への 負荷 を減 らす	(1) 生活環境の保全	環境管理シ ステムづくり	環境管理シ ステムづくり	事業者の環境配慮推進(行政と市民との環 境保全協定の推進)	環境保全協定数(公害防止協定 を含む)	環境部	183社	183社	183社	184社	186社	184社	184社
21			大気の保全	交通対策	生活バス路線「リーバスネット」の整 備	リーバスの運行路線数	市民部	14路線	13路線	12路線	12路線	12路線	13路線	13路線
22						公用車におけるクリーンエネルギー自 動車の導入	全部局	14台	12台	13台	16台	17台	18台	22台
23			不法投棄の防 止	不法投棄防止対 策	環境パトロールの充実強化	不法投棄箇所数	環境部	49箇所	10箇所	9箇所	9箇所	8箇所	25箇所	15箇所
24		クリーン鹿沼の実施				環境部	31箇所	26箇所	27箇所	23箇所	25箇所	20箇所	20箇所	
25		(2) 地球温暖化対策	温室効果ガス 排出量の抑制	地球温暖化対策 地域推進計画の推 進	年度ごとの温室効果ガス排出量の公表	鹿沼市全域からの温室効果ガス 排出量	環境部	754,069t- CO2	828,511t- CO2	816,429t- CO2	851,472t- CO2	851,521t- CO2	665,000 t-CO2	611,000 t-CO2
26						公共施設からの温室効果ガス排 出量		31,349t- CO2	25,790t- CO2	25,802t- CO2	26,741t- CO2	25,145t- CO2	27,600t- CO2	25,400t- CO2
27					家庭用太陽光発電導入の支援	家庭の太陽光発電導入数	環境部	614基	990基	1,312基	1,519基	1,650基	2,000基	3,500基
28			クリーンエネ ルギーの導入 促進	クリーンエネ ルギーの利用	公共施設での率先導入	太陽光発電などによる公園灯の 設置	全部局	23基	25基	32基	32基	32基	37基	37基
29	太陽光発電など(公共施設)					1箇所		1箇所	2箇所	2箇所	3箇所	3箇所	5箇所	
30	5 循 環 型 社 会 へ の 転 換 を 目 指 す	(1) 3R(リデュ ース・リユ ース・リサ イクル)の 推進	ごみの排出抑 制	ごみ減量の推進	家庭ごみの減量化	環境部	ごみの総排出量(集団回収分を 含む)	32,669t	33,135t	32,421t	32,657t	31,874t	30,729t	29,091t
31							燃やすごみ総排出量	24,166t	25,042t	24,508t	24,840t	24,042t	22,958t	21,750t
32					生ごみの堆肥化促進	生ごみ処理機設置数	環境部	845基	876基	894基	900基	911基	1,005基	1,155基
33						コンポスト容器設置数	環境部	8,031基	8,112基	8,150基	8,187基	8,230基	8,375基	8,675基
34			資源の再利 用・リサイ クルの推進	リサイクルの推 進	5種14分別と3Rの推進	資源化量	環境部	6,639t	5,982t	5,995t	5,669t	4,948t	6,196t	5,988t
35						集団回収量		2,209t	1,993t	1,948t	1,815t	1,712t	1,970t	1,823t
36	リサイクル率	20.3%				18.1%		18.5%	17.4%	15.5%	20.2%	20.6%		

第4章 地球温暖化対策地域推進計画の実績

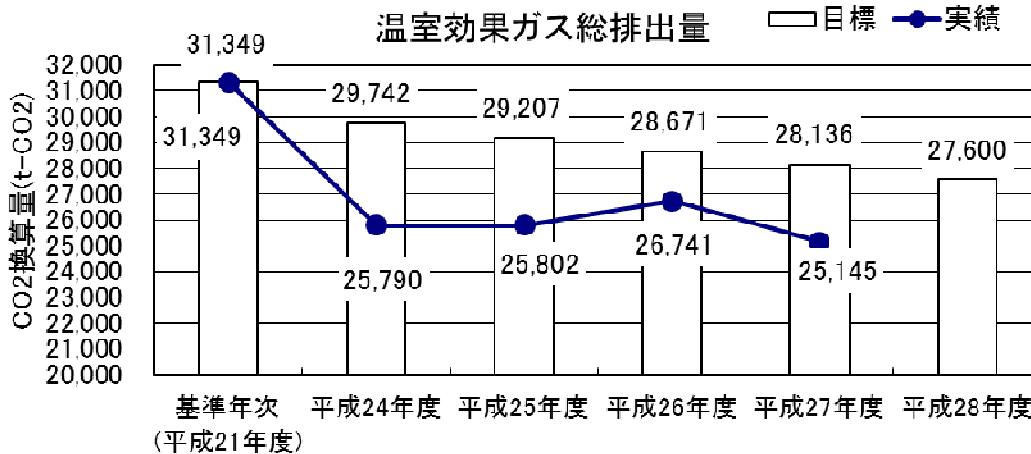
鹿沼市では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく計画を平成14年から策定し、温室効果ガスの排出抑制等、環境への負荷低減に取り組んできました。

平成24年3月には、地球温暖化対策の推進に関する法律に規定される地方公共団体実行計画である「鹿沼市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、市域における自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の抑制等を行う施策を実施することにより、地球温暖化対策の推進に取り組んでいます。

鹿沼市地球温暖化対策地域推進計画の平成27年度実績について

1 市の事業者としての削減目標

(1) 事務事業活動に伴う温室効果ガス総排出量(二酸化炭素換算)



平成27年度の温室効果ガスの総排出量は25,145トン-CO₂と、基準年次(平成21年度)からは6,204トン-CO₂、19.8パーセントの温室効果ガスを削減しました。

		基準年次 (H21)	H24	H25	H26	H27	目標年次 H28
目 標	排出量(t)	31,349	29,742	29,207	28,671	28,136	27,600
	対基準年次 削減量(t)		1,607	2,142	2,678	3,213	3,749
	増減率(%)		5.1	6.8	8.5	10.2	12.0
	増減率(%)		5.1	6.8	8.5	10.2	12.0
実 績	排出量(t)	31,349	25,790	25,802	26,741	25,145	
	対基準年次 削減量(t)		5,559	5,547	4,608	6,204	
	増減率(%)		17.7	17.7	14.7	19.8	
	増減率(%)		17.7	17.7	14.7	19.8	

(2) 温室効果ガス排出量の内訳(削減の内訳)

ア 資源・エネルギー等使用に伴う温室効果ガス排出状況

活動項目	単位	基準年次	平成27年度	増減	CO ₂ 排出量 増減(t)	増減率 (%)
電気使用	kW	27,560,846	24,740,070	2,820,776	1,902	18.3
A重油使用	L	516,019	249,900	266,119	721	51.6
プロパンガス使用	kg	238,270	152,579	85,691	258	36.0
都市ガス使用	m ³	234,668	137,385	97,283	163	35.5
灯油使用	L	720,554	461,125	259,429	646	36.0
ガソリン使用	L	172,704	119,102	53,602	124	31.0
軽油使用	L	163,071	87,066	76,005	202	47.3
公用車走行	km	2,226,253	1,356,636	869,617	8	45.1
計					220	1.4

イ 廃棄物の焼却による温室効果ガス排出状況

活動項目	単位	基準年次	平成27年度	増減	CO ₂ 排出量 増減(t)	増減率 (%)
一般廃棄物焼却	t	26,108	17,593	8,515	155	32.8
廃プラスチック焼却	t	5,378	3,043	2,335	6,003	41.6
下水汚泥焼却	t	35	95	60	21	208.8
計					6,137	41.2

ウ その他の事項による温室効果ガス排出状況

活動項目	単位	基準年次	平成27年度	増減	CO ₂ 排出量 増減(t)	増減率 (%)
カーエアコンの使用	台	325	340	15	1	19.0
下水処理	m ³	10,002,959	11,651,170	1,648,211	130	19.2
し尿処理	m ³	6,023	4,000	2,023	3	38.6
浄化槽	人	6,786	7,022	236	27	21.4
計					153	18.7

温室効果ガス増減量

$$\text{ア} + \text{イ} + \text{ウ} = 220\text{t} + 6,137\text{t} + 153\text{t} = 6,204\text{t}$$

(3) 温室効果ガス削減状況の考察

ア 資源・エネルギーの使用に伴う温室効果ガス排出状況について

資源・エネルギーの使用については、すべての活動項目において基準年度より減少し、二酸化炭素排出量換算で目標年次の削減率(以下、「目標削減率」という。)10.2 パーセントを超える 19.8 パーセントの削減を達成する良好な結果となりました。

平成 27 年度における温室効果ガス排出量減少の要因として挙げられるのは、ごみ焼却処理施設の大規模改修に伴う焼却炉の停止により、A 重油の使用量が減少したこと、また、堆肥化センターでのガス燃焼停止に伴い、灯油の使用量が減少したことが挙げられます。

なお、二酸化炭素排出量については、電気使用に伴う二酸化炭素排出量のみが基準年度と比較し 1,902 トンの増加となりましたが、この原因は、電気事業者の排出係数値の上昇によるものです。

施設における具体的な取組としては、支障のない範囲での照明の間引き、冷房温度を 28 に設定、グリーンカーテンや遮光ネットの利用などにより節電を図るなど、行政経営マニュアルに定められた“もったいない運動の基本理念に基づく率先活動の推進”に沿ったエコオフィス活動を通じて、職員に省エネルギーの習慣が浸透してきていると思われます。

イ 廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出状況について

一般廃棄物焼却に伴う温室効果ガス排出量については削減率 32.8 パーセント、廃プラスチック焼却に伴う温室効果ガス排出量は 41.6 パーセントを削減する良好な結果となりました。平成 27 年度においては焼却炉停止に伴い、9 月と 10 月にごみ減量強化月間を推進したこともあり、プラスチックごみの分別がより徹底されているものと考えられます。一方、下水汚泥の焼却量が基準年と比較して 208.8%と大きく増加しています。平成 27 年度より、北半田以外の農業集落排水施設の汚泥が、堆肥化センターによる処理から焼却処理に変更になったためです。

ウ その他の事項による温室効果ガス排出状況について

下水処理に伴う温室効果ガス排出量の増加については、処理人口の増加に伴うもので、19.2 パーセントの増加でありました。一方、し尿処理に伴う温室効果ガス排出量は、汲取り量の減少に伴い 38.6 パーセント削減されました。

(4) 今後の取組

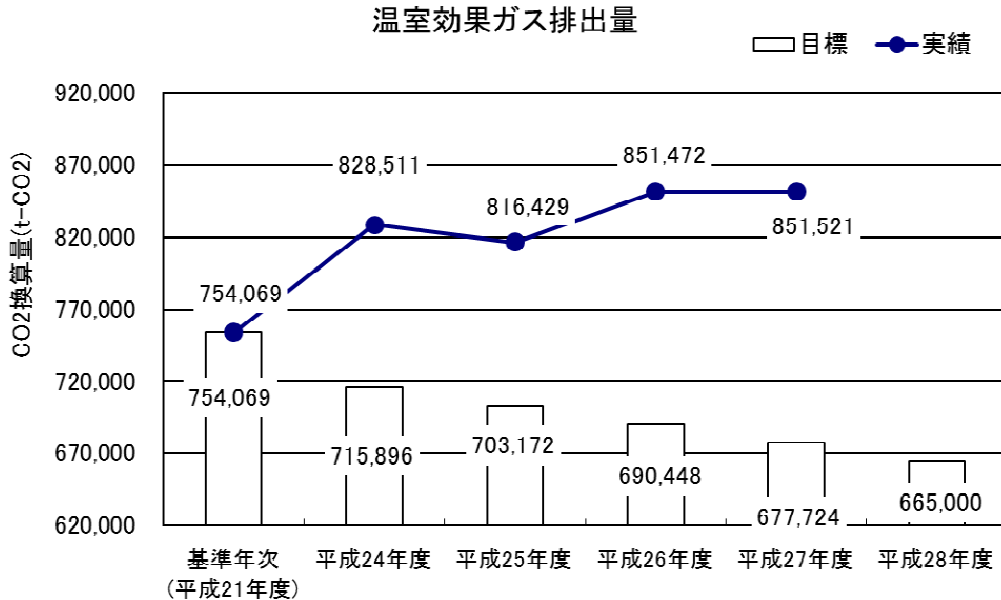
平成 29 年度より、第 4 次環境基本計画における新たな削減目標を達成するために、今までの鹿沼市行政経営マニュアルに定められた手順によるエコオフィス活動の他、第 4 次計画に基づく新たな削減行動に着手し、省エネルギーか

つ効率的な行政運営に努めていくことが重要です。

さらなる温室効果ガスの削減のためには、鹿沼市版もったいない運動における市民運動の他、新たな国民運動「COOL CHOICE(クールチョイス)」等の拡大を図りながら、広く市民にごみ減量やリサイクルの推進について、意識啓発を行っていくことや、太陽光発電等の再生可能エネルギー利用の普及促進に努めていく必要があります。

2 市全域としての削減目標

(1) 温室効果ガス総排出量(二酸化炭素換算)



環境省の作成した地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)策定マニュアル(第1版)簡易版(以下「簡易版マニュアル」という。)により算出した平成27年度の温室効果ガスの総排出量は、851,521トン-CO₂と算定されました。

基準年次(平成21年度)と比較すると、産業部門や家庭部門における温室効果ガス排出量が増加傾向にあります。

		基準年次 (H21)	H24	H25	H26	H27	目標年次 H28
目 標	排出量(t)	754,069	715,896	703,172	690,448	677,724	665,000
	対基準年次 削減量(t)		38,173	50,897	63,621	76,345	89,069
	増減率(%)		5.1	6.7	8.4	10.1	11.8
実 績	排出量(t)	754,069	828,511	816,429	851,472	851,521	
	対基準年次 削減量(t)		74,442	62,360	97,403	97,452	
	増減率(%)		9.9	8.3	12.9	12.9	

簡易版マニュアルは、廃棄物を除く分野で都道府県及び全国のエネルギー使用量から算定した二酸化炭素排出量を、部門別の指標によって按分しているため実態を反映していない場合があるため、本計画では参考値として扱っています。

3 平成 27 年度の主な取組実績

平成 27 年度において、温室効果ガスの排出を削減するため、基本方針に基づき次のような取組を行いました。

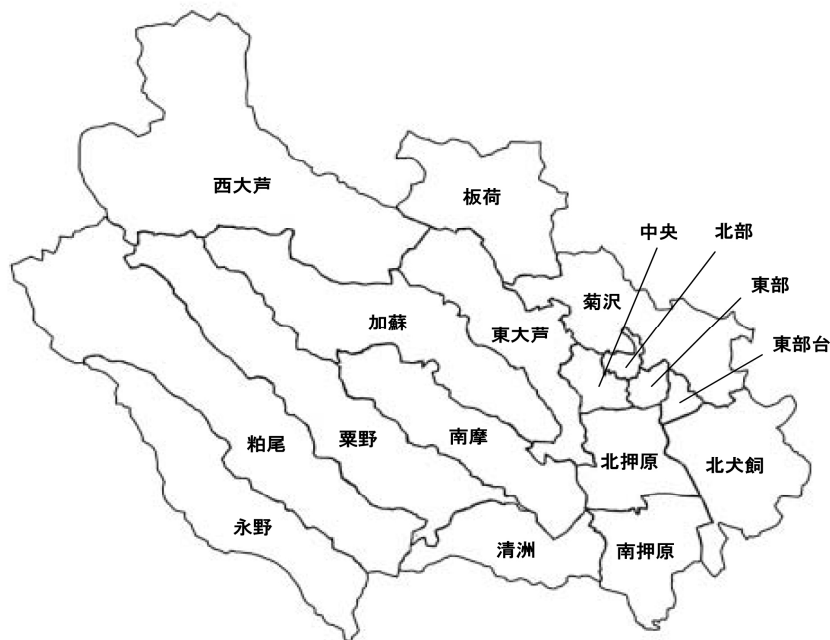
基本方針	平成27年度の主な取組実績	
	施策	内容
省エネルギー型ライフスタイルの推進	昼休みの消灯	市役所内照明の昼休みの消灯の徹底を図った。
	エアコン設定温度の徹底	市役所内エアコンの設定温度の徹底(夏28、冬20)を図った。(クールビズ期間:5月1日～10月31日)
	省エネルギーの啓発	広報・ホームページ等による省エネルギー情報の提供や節電コンテストの募集を行った。 (ホームページ掲載回数:1回、節電コンテスト応募者数:9人)
	環境イベントの開催	環境講演会等のイベントをとおして、環境意識の向上や環境に配慮した行動の促進を図った。 (環境講演会:講師 平井信行(気象予報士)、タイトル「自然環境と地球の未来」、参加者440人)
クリーンエネルギーの利用推進	太陽光発電設備支援	住宅用太陽光発電設備の設置に対する支援を行った。 (補助額:1.5万円/kW(上限6万円)、131件)
	大規模太陽光発電施設の誘致の推進	大規模太陽光発電施設(500kW以上)の償却資産として課税される固定資産税相当額の補助を行った。(補助対象期間:3年間) (補助金交付件数:4件)
循環型社会の構築	ごみ減量のための教育・啓発活動	ごみ減量のための教育・啓発のため、5種14分別の出前講座を実施した。 (年4回実施、市民のべ109人参加)
	資源物の集団回収の推進	自治会・町内会などによる資源物の集団回収の推進を図った。 (登録団体:155団体、回収重量:1,712トン)
	家庭用生ごみ処理機、コンポストの購入補助	家庭用生ごみ処理機、コンポストの購入補助 (生ごみ処理機補助:購入額の2分の1(上限5万円)、11台) (コンポスト容器補助:購入額の2分の1(上限6,000円)、43個)
地域環境の整備・改善	里山等の保全活動の促進	とちぎの元気な森県民税事業を活用し、自治会等にて里山等の整備・管理を行った。 (整備面積:6.03ha、管理面積73.69ha)
	間伐対策の推進	間伐の推進により、普通林728.04haの間伐を実施しました。
	耕作放棄地対策(農地リニューアル)事業	耕作放棄地2.55haに対して、農地リニューアル事業を行った。

第5章 地域別環境配慮行動計画の実績

地域にはそれぞれ、自然的特性や社会的特性などがあり多様性を持っています。

平成 16 年のきれいなまちづくり推進員の組織化を契機に、地域の環境保全活動の連携が図られ、地域環境ネットワークの構築が進められてきました。

このネットワークのもとに、市内にある 17 の各地区において地域の特性に応じた環境保全の目標設定、活動、進行管理が主体的に行われ、地域環境力が高まっています。



鹿沼市地区図

地区	取り組み内容（行動指針）	H22年度 現状値	H27年度 実績	達成率 (対H28目)	H28年度 目標値	H33年度 目標値
中央	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の巡回、不法投棄物の早期撤去	実施	実施	100%	実施	実施
	空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の見回り（市への連絡）	-	実施	100%	実施	実施
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ 定期的なステーションの監視（分別指導・持込監視） ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 23団体	実施 16団体	100% 86%	実施 21団体	実施 21団体
	小藪川などの河川清掃 ・ 小藪川や水路の清掃、周辺環境の整備	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 道路や各自治会の拠点施設等の清掃の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	実施 実施 実施	実施 実施 実施	100% 100% 100%	実施 実施 実施	実施 実施 実施
東部	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ きれいなまちづくり等の団体育成	2団体	1団体	50%	2団体	2団体
	適切な土地利用 ・ 空き地や空き家の管理要請	実施	実施	100%	実施	実施
	大気汚染の防止 ・ 自動車の排気ガスについて関連団体との連携による周知活動	実施	未実施	0%	実施	実施
	ごみ処理、リサイクルの推進 ・ 集団回収活動の促進	17団体	16団体	88%	17団体	17団体
	西武子川の水質汚濁の防止 ・ 河川の清掃活動	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	きれいなまちづくりへの参加 ・ ごみステーションの巡回 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	実施 年2回 実施	実施 年2回 実施	100% 100% 100%	実施 年2回 実施	実施 年2回 実施
	騒音、振動の防止 ・ 自動車の騒音・振動について関連団体との連携による周知	実施	未実施	0%	実施	実施
	野生動植物の保護 ・ 自然保護・生育環境保全の周知	実施	未実施	0%	実施	実施
北部	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の啓発活動の推進	実施	実施	100%	実施	実施
	空き地・空き家の適正な管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	実施	実施	100%	実施	実施
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 放置自転車対策 ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 実施 20団体	実施 実施 18団体	100% 100% 90%	実施 実施 20団体	実施 実施 20団体
	きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	実施 年3回 実施	未実施 年3回 実施	0% 100% 100%	実施 年3回 実施	実施 年3回 実施
	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ クリーン鹿沼の実施	年2回	年1回	50%	年2回	年2回
菊沢	空き地・空き家の適正な管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	実施	実施	100%	実施	実施
	黒川・武子川の水質汚濁の防止 ・ 河川の清掃活動	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 放置自転車対策 ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 実施 年12回	実施 実施 年12回	100% 100% 100%	実施 実施 年12回	実施 実施 年12回
	きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	実施 年2回 実施	実施 年2回 未実施	100% 100% 0%	実施 年2回 実施	実施 年2回 実施
	適切な土地利用 ・ 耕作放棄地の活用 （どろん子ふれあい農園事業の支援）	実施	未実施	0%	実施	実施

地区	取り組み内容（行動指針）	H22年度 現状値	H27年度 実績	達成率 (対H28目)	H28年度 目標値	H33年度 目標値
東 大 芦	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地区内の巡回・現状把握	年2回	年3回	150%	年2回	年2回
	空き地・空き家の適正な管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の見回り（市への連絡）	-	年1回	100%	年1回	年1回
	有害鳥獣対策 ・ 行政との連携による被害の防止と安全対策（随時行政への通報）	実施	実施	100%	実施	実施
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ 集団回収の促進	9団体	9団体	110%	8団体	8団体
	水質汚濁の防止 ・ 河川の清掃活動（河川パトロール）	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	きれいなまちづくりへの参加 ・ 環境美化の日への参加 ・ 地区内一斉草刈りの実施 ・ 花いっぱい運動の推進	年2回 年1回 実施	年2回 年1回 実施	100% 100% 100%	年2回 年1回 実施	年2回 年1回 実施
北 押 原	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 不法投棄物の撤去、啓発看板の設置 ・ ペットの適正管理（糞の適正処理）	実施 実施	実施 実施	100% 100%	実施 実施	実施 実施
	空き地・空き家の適正な管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の見回り（市への連絡）	-	実施	100%	実施	実施
	河川環境の保全 ・ 黒川、小敷川、瀬戸川等の清掃の実施	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底（ごみステーションパトロール） ・ 資源の有効活用（集団回収の促進） ・ マイバックの普及・啓発（リサイクル協力店や地域住民）	実施 16団体 実施	実施 17団体 未実施	100% 120% 0%	実施 14団体 実施	実施 14団体 実施
	きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 道路や各自治会の拠点施設等の清掃の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	年3回 実施 実施	年3回 実施 未実施	100% 100% 0%	年3回 実施 実施	年3回 実施 実施
板 荷	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の啓発活動の実施 ・ クリーン鹿沼の実施 ・ 防犯パトロールの実施	年1回 年1回 月1回	年2回 年0回 月1回	200% 0% 100%	年1回 年1回 月1回	年1回 年1回 月1回
	水質汚濁の防止 ・ 排水対策（生活、事業系排水の環境負荷の低減） ・ 河川の清掃活動（黒川、久保田堀、大鹿島堀、吉良堀、長畑川）	年1回 年1回	年1回 年2回	100% 100%	年1回 年1回 (5箇所)	年1回 年1回 (5箇所)
	きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進 ・ 空き地の雑草管理の啓発	年1回 年3回 7団体 -	年2回 年3回 0団体 年1回	100% 100% 0% 100%	年2回 年3回 7団体 年1回	年2回 年3回 9団体 年1回
	有害鳥獣対策 ・ 行政との連携による被害の防止と安全対策	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	森林の保全 ・ 土地所有者の協力 ・ 森林ボランティア活動の推進 ・ 広葉樹への転換促進 ・ 間伐の促進と森林の適正管理	年1回 3団体 1箇所 11箇所	年1回 3団体 1箇所 11箇所	100% 100% 100% 100%	年1回 3団体 1箇所 11箇所	年1回 3団体 2箇所 13箇所

地区	取り組み内容（行動指針）	H22年度 現状値	H27年度 実績	達成率 (対H28目)	H28年度 目標値	H33年度 目標値
西 大 芦	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の巡回	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	森林の保全 ・ 地域の巡回による不法投棄の防止	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	有害鳥獣対策 ・ 行政との連携による被害の防止と安全対策	実施	実施	100%	実施	実施
	空き家の適正な管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き家の見回り （市への連絡）	-	実施	100%	実施	実施
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 集団回収の促進（説明会開催）	実施 年1回	実施 年1回	100% 100%	実施 年1回	実施 年1回
	きれいなまちづくりへの参加 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進 ・ 道路脇の景観美化（地域活性化地区別行動）	年2回 1団体 年3回	年2回 0団体 年3回	100% 0% 100%	年2回 1団体 年3回	年3回 2団体 年4回
	水質の保全 ・ 河川清掃	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
加 蘇	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の啓発活動の推進 ・ 加蘇地区クリーン診断の実施 ・ 不法投棄箇所解消	実施 年0回 1か所	実施 年1回 1か所	100% 100% 100%	実施 年1回 1か所	実施 年1回 1か所
	水質汚濁の防止 ・ 地域内の河川・水路の清掃活動	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	空き地・空き家の適正な管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の見回り（市への連絡）	-	実施	100%	実施	実施
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 6団体	実施 5団体	100% 83%	実施 6団体	実施 6団体
	きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域（道路・拠点施設）の清掃活動の実施 ・ 加蘇フラワーパーク構想の推進	実施 年3回 実施	実施 年3回 実施	100% 100% 100%	実施 年3回 実施	実施 年3回 実施
北 犬 飼	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ クリーン鹿沼の実施	年4回	年13回	325%	年4回	年4回
	空き地・空き家の適正な管理 ・ 啓発活動の実施	年0回	年1回	100%	年1回	年1回
	水質汚濁の防止 ・ 河川の清掃活動（堀ざらい）	年0回	年2回	200%	年1回	年1回
	大気汚染の防止 ・ 啓発活動の実施（ちらしの配布）	年0回	年0回	0%	年1回	年1回
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ リサイクル推進協力店の拡充と集団回収の促進 リサイクル推進協力店数 集団回収団体数	6店舗 13団体	0店舗 11団体	0% 100%	6店舗 11団体	6店舗 11団体
	きれいなまちづくりへの参加 ・ 環境美化の日 ・ きれいなねっと活動 ・ 自治会の清掃活動 ・ 環境美化推進モデル団体活動	年2回 5団体 実施 実施	年2回 6団体 実施 実施	100% 100% 100% 100%	年2回 6団体 実施 実施	年2回 7団体 実施 実施

地区	取り組み内容（行動指針）	H22年度 現状値	H27年度 実績	達成率 (対H28目)	H28年度 目標値	H33年度 目標値
東 部 台	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 不法投棄・ポイ捨て防止の啓発活動 ・ 地域関係団体と協力した啓発活動の推進 （会報の内容充実・発行）	随時 年1回	随時 年1回	100% 100%	随時 年1回	随時 年1回
	空き地・空き家の適正な管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の管理指導 ・ 所有者不明地に対する行政の指導を支援	随時 随時	随時 随時	100% 100%	随時 随時	随時 随時
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底（啓発・指導） ・ 放置自転車対策（巡視・設置管理の要請） ・ 資源の有効活用（集団回収の促進） ・ マイバック運動の推進（実践活動の充実） ・ ごみ減量化への取り組み（行政、商工団体と連携して過剰包装抑制の呼びかけ）	随時 随時 11団体 随時 随時	随時 随時 13団体 随時 随時	100% 100% 118% 100% 100%	随時 随時 11団体 随時 随時	随時 随時 11団体 随時 随時
	きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 （会報の内容充実・発行） ・ 犬の散歩時のマナー指導 ・ 地域の清掃活動の実施と関係団体との連携 ・ 花いっぱい運動の推進 ・ 茂呂山の清掃 ・ きこの栽培	年1回 年0回 随時 実施 年1回 年1回	年1回 年0回 随時 実施 年1回 年1回	100% 0% 100% 100% 100% 100%	年1回 年1回 随時 実施 年1回 年1回	年1回 年1回 随時 実施 年1回 年1回
	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ クリーン鹿沼の実施	-	年1回	100%	年1回	年1回
南 摩	悪臭の防止 ・ 事業者への協力要請 ・ 堆肥化センターの活用促進	実施 実施	実施 実施	100% 100%	実施 実施	実施 実施
	環境教育の推進 ・ 子どもエコクラブ活動の推進	1団体	1団体	100%	1団体	1団体
	森林の保全 ・ 高木校庭、城山ハイキングコースの整備への協力	実施	実施	100%	実施	実施
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 9団体	実施 7団体	100% 78%	実施 9団体	実施 9団体
	きれいなまちづくりへの参加 ・ 環境美化の日への参加 ・ 不法投棄、ペットの糞対策等の看板の設置 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	年2回 実施 実施 実施 実施 実施	年2回 実施 実施 実施 実施 実施	100% 100% 100% 100% 100%	年2回 実施 実施 実施 実施 実施	年2回 実施 実施 実施 実施 実施
南 押 原	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 黒川河川清掃（クリーン鹿沼の実施）	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	空き地・空き家の適正な管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の管理（市への連絡）	実施	実施	100%	実施	実施
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 4団体	実施 4団体	100% 57%	実施 7団体	実施 7団体
	きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	実施 年2回 3団体	実施 年2回 6団体	100% 120%	随時 年2回 5団体	随時 年2回 5団体
	大気汚染の防止 ・ 野焼き禁止の啓発・行政との連携	実施	実施	100%	実施	実施

地区	取り組み内容（行動指針）	H22年度 現状値	H27年度 実績	達成率 (対H28目)	H28年度 目標値	H33年度 目標値
粟 野	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・地域の啓発活動（不法投棄箇所の調査等） ・地域の行動活動（クリーン鹿沼の実施）	実施 年2回	実施 年0回	100% 0%	実施 年2回	実施 年2回
	空き地・空き家の適正な管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の見回り（地区で連携し美化の日に除草実施）	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	水質汚濁の防止 ・排水対策（生活、事業系排水の環境負荷の低減）のPR	年1回	年0回	0%	年1回	年1回
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底 ・資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 6団体	実施 7団体	100% 117%	実施 6団体	実施 6団体
	きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・地域の清掃活動の実施（美化の日） ・花いっぱい運動の推進	実施 年2回 実施	実施 年2回 実施	100% 100% 100%	実施 年2回 実施	実施 年2回 実施
粕 尾	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・地域の啓発活動の推進	実施	実施	100%	実施	実施
	空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き家の管理（市への連絡）	-	未実施	100%	実施	実施
	野生生物との共生 ・和田用水「ぼたるの里」の保全活動 ・行政との連携による有害鳥獣の被害防止と安全対策	年1回 通年	年1回 通年	100% 100%	年1回 通年	年1回 通年
	思川などの水質汚濁の防止 ・河川等の清掃活動の実施	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・地域の清掃活動の実施 ・花いっぱい運動の推進	実施 年2回 実施	実施 年2回 未実施	100% 100% 0%	実施 年2回 実施	実施 年2回 実施
永 野	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・クリーン鹿沼の実施	年1回	年0回	0%	年1回	年1回
	空き地・空き家の適正な管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の管理（草刈り・除草の行政連絡）	実施	実施	100%	実施	実施
	水質汚濁・悪臭の防止 ・生活排水に対する啓発活動 ・事業者の協力の要請	実施 実施	未実施 未実施	0% 0%	実施 実施	実施 実施
	有害鳥獣対策 ・行政との連携による被害の防止と安全対策	実施	実施	100%	実施	実施
	きれいなまちづくりへの参加 ・環境美化の日の清掃活動 ・草刈り	年2回 年1回	年2回 年1回	100% 100%	年2回 年1回	年2回 年1回
清 洲	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・地域の啓発活動の推進（投棄物の回収）	年1回	年2回	200%	年1回	年1回
	空き地・空き家の適正な管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	-	年1回	100%	年1回	年1回
	水質汚濁及び悪臭の防止 ・排水対策（生活、事業系排水の環境負荷の低減）のPR	年1回	年0回	0%	年1回	年1回
	有害鳥獣対策 ・事業者への協力要請	年1回	年0回	0%	年1回	年1回
	有害鳥獣対策 ・行政との連携による被害の防止と安全対策	-	年0回	0%	年1回	年1回
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底 ・資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 5団体	実施 5団体	100% 100%	実施 5団体	実施 5団体
きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発 ・地域の清掃活動の実施	年1回 年2回	年1回 年2回	100% 100%	年1回 年2回	年1回 年2回	

資料集

1 大気環境の状況

平成26年度 環境基準達成状況

測定局	測定物質名	達成状況		環境上の条件	環境基準による大気汚染の評価	
		長期的評価	短期的評価			
一般環境測定局	市役所	二酸化硫黄			1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること	長期的評価及び短期的評価
		二酸化窒素			1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること	98%値評価 (長期的評価に相当)
		浮遊粒子状物質			1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること	長期的評価及び短期的評価
		光化学オキシダント		×	1時間値が0.06ppm以下であること	昼間の1時間値で評価 (短期的評価に相当)
ガ自 ス動 測車 定排 局出	歩 府 道所 橋町	二酸化窒素			1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること	98%値評価 (長期的評価に相当)
		浮遊粒子状物質			1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること	長期的評価及び短期的評価

- 1 “ ”は環境基準等達成、“×”は未達成、“-”は評価対象外を示す。
- 2 長期的評価とは、年間にわたる測定結果を長期的に観察した上で評価することをいう。
- 3 短期的評価とは、連続又は随時に行った測定結果により、測定を行った日又は時間について評価することをいう。

光化学スモッグ注意報発令日数

区分	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
県内	14	8	16	5	7	16	11	2	4	5	2
鹿沼	8	5	8	2	2	0	5	0	0	0	0

モニタリングポストによる空間放射線量の状況

単位: $\mu\text{Sv/h}$

平成24年 4月1日午前0時	平成25年 4月1日午前0時	平成26年 4月1日午前0時	平成27年 4月1日午前0時
0.053	0.049	0.046	0.046

(注)設置場所はまちの駅「新・鹿沼宿」。モニタリングポスト高さは1m。

2 水環境の状況

平成27年度 河川水質調査結果 1回目

理化学項目調査 8月28日実施分			水生生物調査 8月21日実施分											
12河川・21地点			12河川・20地点											
河川名	採水地点	水生生物による水質階級	分析内容 (上段:項目、下段:単位)										類型	
			透視度 cm	pH	BOD mg/L	SS mg/L	DO mg/L	T-N mg/L	T-P mg/L	大腸菌 MPN/100mL	流量 m3/sec			
黒川	大原堰堤上	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
	柿沢橋下	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	9.6	0.83	0.004	3,300	3.82	A		
	御成橋下	-	>30	7.4	<0.5	1.0	9.3	1.00	0.008	16,000	6.92	A		
	貝島橋下	-	>30	7.6	<0.5	1.0	9.4	1.00	0.005	4,900	6.40	A		
	榎木橋下	きれいな水	>30	7.3	<0.5	1.0	8.9	1.40	0.019	7,900	6.80	A		
大芦川	一の鳥居	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	大仁田橋下	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	9.6	0.56	<0.003	1,100	4.65	AA		
	赤石橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	北半田橋下	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	8.8	0.92	0.004	1,700	6.23	AA		
小藪川	東武線ガード下	少しきたない水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	壇ノ浦橋下	-	>30	7.6	<0.5	1.0	9.0	1.20	0.019	35,000	0.08	A		
	榎木町小藪橋	少しきたない水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
行川	富岡橋下	きれいな水	>30	7.5	<0.5	1.0	9.2	0.95	0.013	9,200	2.32	A		
荒井川	法長内橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	旧加蘇出張所前	-	>30	7.1	<0.5	<1.0	9.5	1.00	0.005	4,900	0.94	AA		
	象間橋	少しきたない水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
南摩川	豊年橋下	きれいな水	>30	7.1	<0.5	<1.0	9.5	1.50	<0.003	24,000	0.54	A		
武子川	仁神堂橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	
	飯岡橋下	-	>30	7.5	<0.5	4.0	9.3	1.80	0.040	17,000	1.94	B		
	工業団地東	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	
西武子川	寿橋下	きれいな水	>30	7.5	<0.5	3.0	9.0	2.30	0.022	22,000	0.17	A		
瀬戸川	黒川橋東	少しきたない水	>30	6.9	<0.5	2.0	8.3	1.70	0.012	35,000	0.16	A		
粟野川	台東区自然学園前	-	>30	7.2	<0.5	<1.0	9.3	0.54	<0.003	1,300	1.09	A		
	入粟野境	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	粟野コミセン前	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	9.2	1.00	0.003	4,900	1.18	A		
	清瀬橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
思川	墨田区自然学園前	-	>30	7.4	<0.5	<1.0	9.5	0.42	<0.003	790	0.73	A		
	蕪根橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	大越路橋	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	10.0	0.85	0.005	4,900	5.11	A		
	清南橋	-	>30	7.0	<0.5	<1.0	8.8	1.20	0.006	9,200	5.86	A		
	清洲橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	小倉橋	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	9.1	1.10	0.008	7,900	10.63	A		
永野川	石倉橋	-	>30	7.4	<0.5	<1.0	9.7	1.10	0.008	4,000	0.50	A		
	田中橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	倉本橋	きれいな水	>30	7.4	<0.5	<1.0	9.1	1.20	0.009	4,900	0.83	A		
環境基準	類型 AA	6.5	1以下	25以下	7.5以上	50以下								
	類型 A	8.5	2以下				5以上							
	類型 B	3以下												

網掛けは環境基準超過、- は未調査

平成27年度 河川水質調査結果 2回目

理化学項目調査 2月19日実施分	水生生物調査 2月12日実施分
12河川・21地点	12河川・20地点

河川名	採水地点	水生生物による水質階級	分析内容 (上段:項目、下段:単位)									類型	
			透視度	pH	BOD	SS	DO	T-N	T-P	大腸菌	流量		
			cm		mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	MPN/100mL	m3/sec		
黒川	大原堰堤上	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
	柿沢橋下	-	>30	7.4	<0.5	<1.0	12.5	0.73	0.008	33	1.02	A	
	御成橋下	-	>30	7.4	<0.5	4.0	12.3	1.20	0.004	49	1.52	A	
	貝島橋下	-	>30	7.5	<0.5	10.0	12.1	1.30	0.004	79	1.96	A	
	楡木橋下	きれいな水	>30	7.4	0.9	13.0	10.8	3.00	0.100	130	2.06	A	
大芦川	一の鳥居	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	大仁田橋下	-	>30	7.4	<0.5	<1.0	12.4	0.55	0.004	11	1.24	AA	
	赤石橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
小藪川	北半田橋下	-	>30	7.4	<0.5	<1.0	11.8	1.00	0.003	46	1.29	AA	
	東武線ガード下	少しきたない水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	壇ノ浦橋下	-	>30	7.9	0.6	<1.0	13.7	1.00	0.009	220	0.04	A	
行川	楡木町小藪橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	富岡橋下	きれいな水	>30	7.6	0.5	2.0	11.5	1.00	0.010	130	0.95	A	
荒井川	法長内橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	旧加蘇出張所前	-	>30	7.3	<0.5	1.0	12.0	0.91	0.007	79	0.26	AA	
	象間橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
南摩川	豊年橋下	きれいな水	>30	7.6	<0.5	<1.0	11.4	1.00	<0.003	33	0.08	A	
	仁神堂橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	
武子川	飯岡橋下	-	>30	7.6	<0.5	1.0	12.5	2.20	0.023	790	0.50	B	
	工業団地東	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	
西武子川	寿橋下	きれいな水	>30	7.8	0.7	<1.0	13.6	3.30	0.017	330	0.01	A	
瀬戸川	黒川橋東	-	>30	6.9	<0.5	<1.0	8.5	2.50	0.004	110	0.00	A	
粟野川	台東区自然学園前	-	>30	7.3	<0.5	1.0	11.8	0.81	<0.003	330	0.10	A	
	入粟野境	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	粟野コミセン前	-	>30	7.2	<0.5	<1.0	13.0	0.59	<0.003	33	0.23	A	
思川	清瀬橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	豊田区自然学園前	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	13.2	0.45	<0.003	9	0.43	A	
	蕪根橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	大越路橋	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	13.4	0.75	0.004	240	0.11	A	
	清南橋	-	>30	7.0	<0.5	<1.0	10.9	1.10	0.003	630	1.97	A	
	清洲橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
永野川	小倉橋	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	11.2	1.20	<0.003	17	8.43	A	
	石倉橋	-	>30	7.5	<0.5	<1.0	12.8	0.83	0.005	79	0.15	A	
	田中橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
環境基準	倉本橋	きれいな水	>30	6.9	<0.5	<1.0	10.5	1.30	0.007	240	0.15	A	
			類型 AA	6.5 ~ 8.5	1以下	25以下	7.5以上			50以下			
		類型 A	2以下		1,000以下								
		類型 B	3以下		5以上			5,000以下					

網掛けは環境基準超過、- は未調査

平成27年度 地下水水質調査結果

地区	鹿沼	菊沢	東大芦	北押原	板荷	西大芦	加蘇	北犬飼
地点数	1	6	5	3	2	2	4	4
地区	東部台	南摩	南押原	粟野	粕尾	永野	清洲	合計
地点数	0	2	4	1	1	1	2	38

調査項目	調査月	8月		調査月	2月		環境基準
		調査検体数	不適検体数		調査検体数	不適検体数	
カドミウム		38	0	38	0	0.01mg/L以下	
全シアン		38	0	38	0	検出されないこと	
鉛		38	0	38	0	0.01mg/L以下	
六価クロム		38	0	38	0	0.05mg/L以下	
ひ素		38	0	38	0	0.01mg/L以下	
総水銀		38	0	38	0	0.0005mg/L以下	
P C B		38	0	38	0	検出されないこと	
1.1.1-トリクロロエタン		38	0	38	0	1.0mg/L以下	
トリクロロエチレン		38	0	38	0	0.01mg/L以下	
テトラクロロエチレン		38	0	38	0	0.01mg/L以下	
ふっ素		15	0	15	0	0.8mg/L以下	
亜硝酸性窒素・硝酸性窒素		15	0	15	1	10mg/L以下	
ほう酸		15	0	15	0	1.0mg/L以下	

地下水汚染地域の継続監視

H27.8

南上野町地区 測定値

地区名	トリクロロエチレン (単位 mg/L)	テトラクロロエチレン (単位 mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (単位 mg/L)	シス-1,2-ジクロロ エチレン (単位 mg/L)
下奈良部町	<0.001	<0.001	<0.002	<0.004
上石川	<0.001	<0.001	-	-
南上野町1	<0.001	0.004	<0.002	<0.004
南上野町2	<0.001	<0.001	<0.002	<0.004
南上野町3	<0.001	<0.001	<0.002	<0.004
池ノ森	<0.001	0.001	<0.002	<0.004

津田千渡地区 測定値

地区名	トリクロロエチレン (単位 mg/L)	テトラクロロエチレン (単位 mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (単位 mg/L)	シス-1,2-ジクロロ エチレン (単位 mg/L)
白桑田	<0.001	<0.001	-	-
深津1	<0.001	<0.001	-	-
深津2	<0.001	<0.001	-	-
深津3	<0.001	<0.001	-	-
深津4	<0.001	0.017	-	-
深津5	<0.001	<0.001	-	-
茂呂	<0.001	0.010	-	-

H28.2

南上野町地区 測定値

地区名	トリクロロエチレン (単位 mg/L)	テトラクロロエチレン (単位 mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (単位 mg/L)	シス-1,2-ジクロロ エチレン (単位 mg/L)
下奈良部町	<0.001	<0.001	<0.002	<0.004
上石川	<0.001	<0.001	-	-
南上野町1	<0.001	0.002	<0.002	<0.004
南上野町2	<0.001	<0.001	<0.002	<0.004
南上野町3	<0.001	<0.001	<0.002	<0.004
池ノ森	<0.001	0.001	<0.002	<0.004

津田千渡地区 測定値

地区名	トリクロロエチレン (単位 mg/L)	テトラクロロエチレン (単位 mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (単位 mg/L)	シス-1,2-ジクロロ エチレン (単位 mg/L)
白桑田	<0.001	0.002	-	-
深津1	<0.001	<0.001	-	-
深津2	<0.001	<0.001	-	-
深津3	<0.001	<0.001	-	-
深津4	0.001	0.018	-	-
深津5	<0.001	<0.001	-	-
茂呂	<0.001	0.007	-	-

特定事業場排水水検査

調査日 平成28年3月9日

調査箇所数 11事業所、20排水口

調査項目	不適検体数	排水基準
水素イオン濃度 (pH)	0	5.8以上8.6以下
生物化学的酸素要求量 (BOD)	2	25mg/L
浮遊物質 (SS)	1	50mg/L
大腸菌群数 (E.ch)	1	3,000個 / mL
n - ヘキサン抽出物質量(油類)	0	5個 / mL

鹿沼工業団地総合排水口水質調査結果 (武子川 調査日：平成28年3月9日)

調査項目		測定値	排水基準
水素イオン濃度指数	pH	6.9	5.8 ~ 8.6
生物化学的酸素要求量	BOD	14	25mg / L (3mg / L)
浮遊物質量	SS	14	50mg / L (25mg / L)
n - ヘキサン抽出物質量	油分	<1	5mg / L
カドミウム	Cd	<0.001	0.1mg / L
シアン	CN	<0.1	1mg / L
鉛	Pb	<0.005	0.1mg / L
六価クロム	Cr ⁺⁶	<0.04	0.1mg / L
ヒ素	As	<0.005	0.1mg / L
クロム	Cr	<0.1	2mg / L
総水銀	Hg	<0.0005	0.005mg / L
銅	Cu	<0.1	3mg / L
亜鉛	Zn	0.4	5mg / L
大腸菌群数	E.ch	0	3,000個 / mL
溶解性鉄	Fe	<0.1	3mg / L
溶解性マンガン	Mn	<0.1	3mg / L
ふっ素	F	<0.2	8mg / L
フェノール類		<0.1	1mg / L
トリクロロエチレン	TCE	<0.001	0.3mg / L
テトラクロロエチレン	PCE	<0.0005	0.1mg / L
1.1.1-トリクロロエタン	MC	<0.0005	3mg / L

() 内は、河川環境基準 (B 類型)

平成27年度 放流水中の有害物質検査結果

検査項目	基準	単位	黒川終末 処理場	粟野 水処理 センター	古峰原 水処理 センター	西沢 水処理 センター	鹿沼 フェニックス
水素イオン濃度(水素指数)	5.8~8.6		6.9	6.7	6.9	6.9	7.7
生物学的酸素要求量 BOD	20	mg / L	4.3	2.1	2.4	3.4	< 1.0
化学的酸素要求量 COD	20	mg / L					7.8
浮遊物質 SS	50	mg / L	1.8	1.9	< 1.0	1.6	1.2
ルルハキ抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	5	mg / L	< 1.0	< 1.0	< 1.0	< 1.0	< 1.0
ルルハキ抽出物質含有量 (動物性油脂類含有量)	30	mg / L	< 1.0	< 1.0	< 1.0	< 1.0	< 1.0
フェノール類含有量	1	mg / L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
銅含有量	3	mg / L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
亜鉛含有量	5	mg / L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
溶解性鉄含有量	3	mg / L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
溶解性マンガン含有量	3	mg / L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
クロム含有量	2	mg / L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
大腸菌群数	3,000	個 / cm ³	0	0	0	0	0
カドミウム及びその化合物	0.03	mg / L	< 0.001	< 0.001	< 0.01	< 0.01	< 0.001
シアン化合物	1	mg / L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
有機燐化合物	1	mg / L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
鉛及びその化合物	0.2	mg / L	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01	< 0.005
六価クロム化合物	0.1	mg / L	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04
砒素及びその化合物	0.5	mg / L	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01	< 0.005
水銀及びアルキル水銀 その他水銀化合物	0.005	mg / L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
アルキル水銀化合物	0.0005	mg / L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
ポリ塩化ビフェニル PCB	0.003	mg / L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
トリクロロエチレン	0.3	mg / L	< 0.002	< 0.002	< 0.001	< 0.001	< 0.002
テトラクロロエチレン	0.1	mg / L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.001	< 0.001	< 0.0005
ジクロロメタン	0.2	mg / L	< 0.002	< 0.002	< 0.02	< 0.02	< 0.002
四塩化炭素	0.02	mg / L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.001	< 0.001	< 0.0002
1.2-ジクロロエタン	0.04	mg / L	< 0.0004	< 0.0004	< 0.004	< 0.004	< 0.0004
1.1-ジクロロエチレン	0.2	mg / L	< 0.002	< 0.002	< 0.02	< 0.02	< 0.002
シス1.2-ジクロロエチレン	0.4	mg / L	< 0.004	< 0.004	< 0.04	< 0.04	< 0.004
1.1.1-トリクロロエタン	3	mg / L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.001	< 0.001	< 0.0005
1.1.2-トリクロロエタン	0.06	mg / L	< 0.0006	< 0.0006	< 0.006	< 0.006	< 0.0006
1.3-ジクロロプロペン	0.02	mg / L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.002	< 0.002	< 0.0002
1.4-ジオキサン	0.5	mg / L	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
チウラム	0.06	mg / L	< 0.0006	< 0.0006	< 0.006	< 0.006	< 0.0006
シマジン	0.03	mg / L	< 0.0003	< 0.0003	< 0.003	< 0.003	< 0.0003
チオベンカルブ	0.2	mg / L	< 0.002	< 0.002	< 0.02	< 0.02	< 0.002
ベンゼン	0.1	mg / L	< 0.001	< 0.001	< 0.01	< 0.01	< 0.001
セレン及びその化合物	0.1	mg / L	< 0.002	< 0.002	< 0.01	< 0.01	< 0.002
ほう素とその化合物	10	mg / L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	2.5
ふっ素及びその化合物	8	mg / L	< 0.2	< 0.2	< 0.2	< 0.2	< 0.2
窒素含有量	120	mg / L	17.3	4.6	4.8	4.1	16
炭含有量	16	mg / L	1.9	0.6	0.34	1.6	0.5

基準は、水質汚濁防止法に基づく排出基準です。

は、未調査です。

1.4-ジオキサンは、平成24年度に規制物質に追加されました。

3 騒音・振動の状況

平成27年度 道路・環境騒音測定調査結果 単位：dB

路線	測定地点	幹線道路に面する地域	
		昼 間	夜 間
県道 宇都宮鹿沼線	千渡		
		71 (75)	65 (70)
県道 宇都宮楡木線	深津		
		73 (75)	68 (70)
国道 国道293号	縦山町		
		68 (75)	65 (70)

()内の数字は総理府令で定める要請限度値

4 ダイオキシン類の状況

平成27年度 ダイオキシン調査結果

水質

地下水

調査場所: 鹿沼フェニックス

項目	放流水	地下水
調査日	平成28年3月29日	平成28年3月29日
調査地点	1か所	1か所
測定結果	0.00016pg-TEQ/L	0.054pg-TEQ/L
環境基準	10pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L

河川

調査場所: 黒川(楡木橋下)

項目	河川水	河川底質
調査日	平成27年8月4日	平成27年8月4日
調査地点	1か所	1か所
測定結果	0.074pg-TEQ/L	0.16pg-TEQ/g
環境基準	1pg-TEQ/L	150pg-TEQ/g(乾燥重量)

大気

調査場所: 鹿沼市役所

調査日	平成27年8月4日～8月11日	平成28年2月8日～2月15日
調査地点	1か所	1か所
測定結果	0.013pg-TEQ/m ³	0.019pg-TEQ/m ³
環境基準	0.6pg-TEQ/m ³	0.6pg-TEQ/m ³

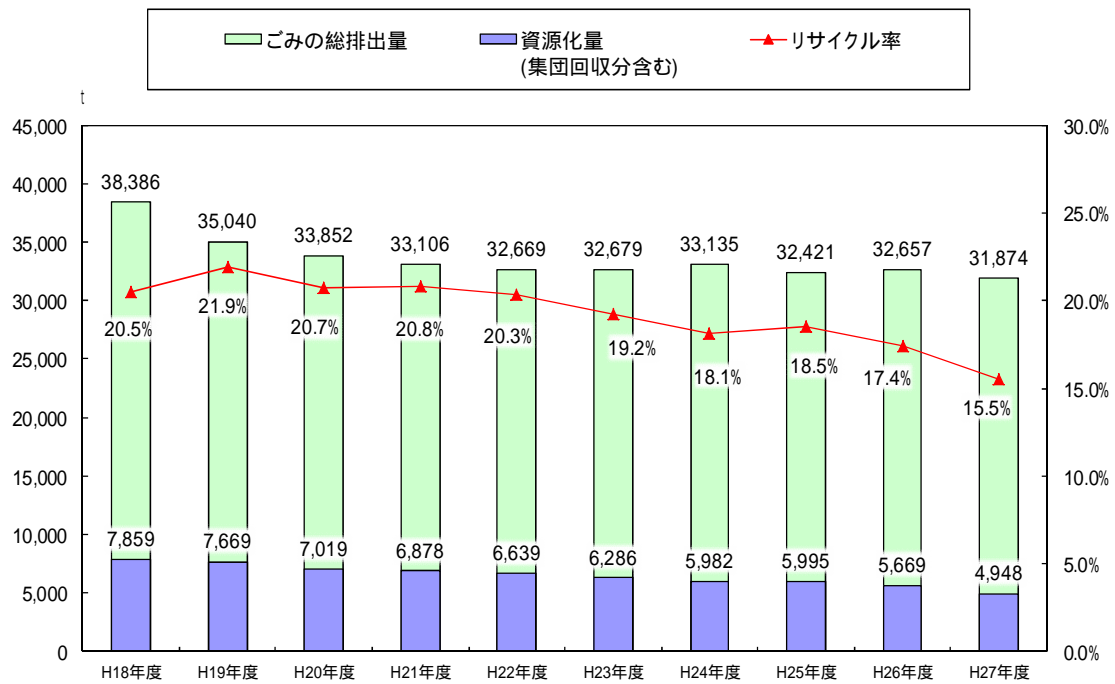
土壌

調査場所: 西大芦小学校

測定日	平成28年2月12日
調査地点	1か所
測定結果	0.39 pg-TEQ/g (乾燥重量)
環境基準	1,000 pg-TEQ/g

5 ごみの総排出量とリサイクル率の推移

区 分	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
ごみの総排出量	38,386	35,040	33,852	33,106	32,669	32,679	33,135	32,421	32,657	31,874
資源化量 (集団回収分含む)	7,859	7,669	7,019	6,878	6,639	6,286	5,982	5,995	5,669	4,948
リサイクル率	20.5%	21.9%	20.7%	20.8%	20.3%	19.2%	18.1%	18.5%	17.4%	15.5%



6 動植物の生息状況

確認種類数及び注目すべき種の確認種類数

区 分	確 認 数	注 目 す べ き 種	栃木県内の確認種数	鹿沼市で確認された割合
植 物	166科 2,164種	63科 188種	3,151種	68.70%
哺乳類	7目 17科 39種	5目 9科 17種	7目 18科 53種	73.60%
鳥 類	16目 46科 175種	13目 27科 52種	18目 61科 293種	59.70%
両生類	2目 6科 15種	2目 5科 11種	2目 6科 18種	83.30%
爬虫類	2目 7科 14種	2目 5科 12種	2目 8科 15種	93.30%
昆虫類	19目 356科 3,442種	11目 63科 108種	10,133種	34.00%
魚 類	8目 14科 37種	8目 10科 13種	11目 17科 55種	67.30%

平成22年度実施 第3次鹿沼市環境基本計画等策定基礎調査結果報告書より

7 環境審議会委員名簿

環境審議会委員名簿（任期 平成27年10月14日～平成29年10月13日）

No	職名	委員区分	所属等	氏名
1	会長	(1)市民	鹿沼市自治会連合会	鈴木節也
2	副会長		きれいなまちづくり推進員協議会	鈴木章世
3	委員		エコネットかぬま	竹之内八重子
4	委員		公募委員	楠恒男
5	委員		公募委員	五月女悦子
6	委員	(2)市議会の議員	鹿沼市議会	横尾武男
7	委員	(3)市の副市長	鹿沼市	松山裕
8	委員	(4)関係行政機関の職員	栃木県西環境森林事務所	津布久隆
9	委員		栃木県上都賀農業振興事務所	杉本勝紀
10	委員		栃木県鹿沼土木事務所	斎藤治秀
11	委員		鹿沼市小中学校長会	大島良平
12	委員	(5)学識経験を有する者	鹿沼商工会議所	木村剛考
13	委員		鹿沼工業団地総合管理協会	櫻井進一
14	委員		栗野森林組合	福田七右衛門
15	委員		鹿沼自然観察会	渡邊知義

平成28年4月1日現在

8 環境情報紙（平成 27 年度：3 回発行）

No.4 「eco の環 エコのわ」平成 27 年 7 月 24 日発行

1/2 ページ



これまで単独で発行してきた「かぬまの環境を地域と共にはぐくむ情報紙ecoの環」は、今回から広報かぬまにて掲載します。



9月・10月はごみ減量強化月間です!! ごみの減量にご協力ください

清掃課事業係 ☎(64)3241

現在、市クリーンセンター内の「ごみ焼却施設」を改修しています。これに伴い 2 炉同時停止となる 9 月・10 月はクリーンセンターでの焼却ごみの処理能力がゼロになってしまいます。（完成は来年 4 月を予定しています。）



- 市全体では、1日あたり約100トンの「燃やすごみ」が排出されています。
- 現在（1炉停止中）の焼却処理能力は1日約88トンで、約12トンのごみが処理できていません。
- クリーンセンターで処理できない「燃やすごみ」の処理は外部委託していますが、2億円以上の経費がかかる見込みです。

1人・1カ月・1kgの減量を！

1人が1カ月に1kgのごみを減量した場合、市全体では、月約300万円、年間約3,600万円の経費節減効果があります。

- ◆生ごみの水切りを徹底しましょう！
- ◆生ごみはコンポスト容器を使って堆肥化しましょう！
 - コンポスト容器や生ごみ処理機の購入には補助制度があります。購入前に電話申込（環境課総務係☎(64)3194）が必要です。
- ◆リサイクルショップを活用するなど、不用品は必要な人に譲りましょう！
- ◆紙類・衣類は、資源物に分別しましょう！
 - 燃やすごみの中に、雑古紙などの資源物が入っている場合があります。
 - 配付している「家庭ごみの分け方・出し方」を参考に分別してください。

次のページでは
生ごみ減量の方法と
雑古紙や衣服・布の
分別のポイントを
ご紹介！



シリーズ エコライフのすすめ

環境課総務係 ☎(64)3194

ワンポイント

草や葉の水分は乾燥させてから出しましょう。
(ごみ出しの直前まで袋の口を開けておく)



6 生ごみダイエットのすすめ

生ごみダイエットをすれば、ごみ全体がかなり減量できます。ここでは、生ごみの水切りの具体的な方法をご紹介します。

①ぬらさない

- 野菜の皮など使えない部分は、洗う前に切り落としてからごみ袋へ。

②しっかり水切りする

- お茶がらなど水分の多いものは、ごみ袋へ捨てる前にひと絞り。
- 「水切りネット」をつかって、ごみ袋へ捨てる前に絞る。
- 三角コーナーは、傾けて水はけを良くしておく。

③乾かす

- 野菜くずなどは、新聞紙の上に広げてしばらく置き、水分をとばす。



7 ごみ分別のすすめ

ごみの分別、きちんとできていますか？
今回は「雑古紙」「衣類・布」として分別すべきごみを例示します。
自分の分別レベルをチェックしてみましょう。

～ 雑古紙 ～

□ 初級



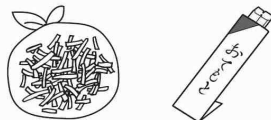
パンフレット、名刺、はがき、封筒、カレンダー

□ 中級



ラップ・トイレットペーパーの芯、紙製梱包材

□ 上級



シュレッダーした紙、割りばし・ストローの紙袋

■出し方⇒透明または半透明袋に入れます。

※汚れているものや、ビニール等でコーティングされた紙は、燃やすごみです。



～ 衣服・布 ～

「衣服」は東南アジア等に輸出され中古衣料として、「布」は工業機械の油等を拭く雑巾として、再利用されます。

□ 初級



Tシャツ、ズボン、スカート、Yシャツ、タオル、タオルケット

□ 中級



ジャージ、スーツ

□ 上級



ユニフォーム、制服、シーツ

■出し方⇒透明または半透明袋に入れます。

※汚れや破れがあるものは、燃やすごみです。



◎雑古紙、衣服・布とも、雨の日や雨が降りそうな場合は、次の収集日に出しましょう。



ごみ焼却処理施設の改修 その5

清掃課施設係 ☎(64)3304

新1号焼却炉、まもなく試運転開始!

4月からごみ焼却炉の一部を停止、9月・10月は全部を停止しての改修工事を行っています。この工事で、従来の電気式集塵機をろ過式集塵機に換えることにより、排気ガスがよりクリーンになります。

また、新たにボイラーと小型蒸気発電機が設置され、余熱を利用した発電により、施設内で使用する電気の一部を賅うことができます。

工事の完了は来年3月の予定ですが、今後、工事の進捗状況を見て、市民の皆さんに新施設の見学会をご案内する予定です。

水害により発生した ごみの受入れについて

環境クリーンセンターでは、9月の水害により発生したごみの受け入れを無料で行っています。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。清掃課事業係☎(64)3241へお問い合わせください。



発電設備棟

合併10周年記念
環境講演会

「自然環境と地球の未来」

鹿沼市環境活動推進会議(環境課内) ☎(65)1064



気象予報士 平井 信行 氏
(NHK 「おはよう日本」 出演)

- と き 12月5日(土)
開場：午後1時 開演：午後1時30分
- と ころ 市民文化センター 小ホール
- 講 師 気象予報士 平井信行氏
- 定 員 390人(先着順) 入 場 料 無 料
- 申 込 不要。直接会場へお越しください。



当日はペットボトルキャップや使用済小型家電の回収を行います。協力していただいた人には、景品をプレゼントします。また、講演終了後に花の苗を差し上げます。(いずれも数に限りがあります)



環境活動者 紹介コーナー

市内で環境の保全や美化などに取り組む団体・企業などを、環境活動推進会議の編集員が取材しました。

【荒川・鈴木・富久田・備中（敬称略）】

農村の美しい自然・風景を守る 「久野の農地を守る会」

本会は、久野・口栗野（^{くつば}）地区の農用地 9.3haの水路、農道を保全管理する地域共同活動組織で、約130人が所属しています。

農林水産省の交付金を受け、平成26年10月から、農地維持、用水路補修、排水路の泥上げ、農道の路面修復等に取り組んでいます。

今年は、地域の小学生を交えた「田植えから稲刈り」も実施しています。

青木代表は、初年度の活動成果として、特に排水システムの水の流れが良くなったことや、地域住民間のコミュニケーションが向上したことを挙げ、取り組んで良かったと話します。

また、これまでの環境保全型農業に「地球温暖化防止」、「生物多様性の維持・向上」を加え、環境配慮活動（エコ農業）への展開も考えているとのことでした。



シリーズ エコライフのすすめ

環境課総務係 ☎(64)3194

8 賢くオシャレにエコに衣替え

だんだん涼しくなってきましたが、皆さん衣替えは済みましたか？

今回は、エコに衣替えを実践するポイントをご紹介します。

■チェンジ（きっちり衣替え）

まずはきちんと衣替えをして、自分がどんな服を持っているのかを把握することが重要です。そして、「不要」と判断した物は思い切って処分してみましょう。「ここ2年間着ていない」が基準の一つです。

■リユース（資源の再利用）

処分するといっても、全て捨ててしまうのはエコではありませんよね。着られる服はリサイクルショップへ。子供服は、ママ友同士で融通すれば節約にもなります。

■クリーニング（しかも預けちゃう！）

「保管サービス付きの宅配クリーニング」は特にかさばりやすい冬物にオススメ。収納も、お手入れの手間も省けます。



■レンタル（服も借りる時代！）

「ファッションレンタルサービス」は毎月定額料金で服やアクセサリが借り放題。これぞオシャレとエコの新しい形。収納に困ることもなくなります。

■ショッピング（楽しくエコに☆）

ついつい衝動買いしてしまい、結局、一度も着なかったり、収納場所が無かったりすること、ありませんか？買う時に、自分の持っている物や組み合わせをよく考えましょう。

衣替えの際には、ぜひエコな視点で自分のファッションを見直してみてください。すっきり整理して、これからの季節を気持ちよく迎えましょう！



かめまの環境を
地域と共にはぐくむ

「ecoの環」へのご意見、ご要望がありましたら、環境課総務係 ☎(64)3194までお寄せください。

うすいかつようせつび 雨水活用設備ってなあに？

下水道課管理係 ☎(65)3241

*雨水活用設備って、どんなもの？

屋根に降った雨水をためる『雨水貯留槽』(タンク)と、雨水を地中にしみ込ませる『雨水浸透枳』(ます)があります。

*それぞれ、どんなメリット(利点)があるのだろう？

○雨水貯留槽(タンク)

- ・ためた雨水を洗車や庭木の散水等に有効利用でき、水道水の節水につながる。
- ・夏の暑い日、打ち水として利用することで、気温を2~3度低下させることができ、温暖化対策につながる。
- ・震災時に断水になった場合も、トイレの流水に使える。

○雨水浸透枳(ます)

- ・雨水の流出を抑制するので、浸水被害防止につながる。
- ・庭の水はけがよくなる。
- ・地下水涵養(地面にしみ込んだ雨水が地下水になること)に効果的⇒地下水の枯渇の防止に役立つ。



◀自主製作の雨水貯留槽

※雨水活用設備の設置費用について一部補助していますので、ぜひご検討ください。
※補助金の交付を受けるには、**購入・設置前に申請**が必要です。詳しくはお問い合わせください。

黒川終末処理場で ガス発電事業スタート！

下水道施設課施設維持係 ☎(65)3687

黒川終末処理場では、家庭等からの汚水を浄化処理した後、消毒して黒川へ放流しています。

浄化処理の過程で発生した汚泥は、処分量を減量化するため、消化槽で有機物を分解しています。このとき発生するのが消化ガス(主にメタンガス)です。

黒川終末処理場では、昨年6月から消化ガスの利用先を、これまでの施設加温からガス発電に切り替えました。

なお、施設加温は、ガス発電したときの廃熱温水を利用することで賄う予定です。



ガス発電事業は月島機械㈱による民設民営事業として行い、市は事業用地および消化ガスを提供する代わりに、温水と売電料の一部を配分金として受け取ります。配分金は、下水道施設の維持管理費に充てられます。

6月から11月までに457,668kWh発電し、市に3,173,012円の配分金収入がありました！



環境活動者 紹介コーナー

市内で環境の保全や美化などに取り組む団体・企業などを、環境活動推進会議の編集員が取材しました。

【青木・小島・高橋・廣田・松島（敬称略）】

環境保全活動と環境への興味・関心度アップに尽力 「かめまエコサークル」

「かめまエコサークル」は、市の環境学習指導者養成コースを修了した受講者たちにより、平成19年4月に発足した団体です。現在23人のメンバーが、鹿沼の環境保全とその普及活動に尽力しています。

平成20年度からは環境学習指導者養成コースの講師を市から委託され、環境学習リーダーの育成に努めています。最近ではエコライフフェア、市民協働まつりなどイベントへの出展や、小学校への出前講座の講師を務めるなど、多方面での活動も広がりました。

今年度は指導者養成コースのカリキュラムを変更し、施設見学や自然体験交流センターでの実地学習

などを取り入れた3つのコースに分けたところ、受講者が増加。環境に関する興味・関心度も増じていることが感じられました。

会長の阿部さんは、「一人でも多くの人に環境について学んでもらい、サークルの活動を次世代につなげていきたい」と語ってくれました。



水を育む森のしくみ（緑のダム）を学ぶ様子

シリーズ エコライフのすすめ

環境課総務係 ☎(64) 3194

9 サイクリングのすすめ

もうすぐ春ですね。今、ひそかなサイクリングブームだそうです。

環境にとっても優しい自転車。皆さんも乗ってみませんか？いいことあるかもしれませんよ！

■やっぱり楽しい

子どもの頃を思い出してください。初めて乗れた時のドキドキや、友達と出かけた時のワクワクがよみがえってきますよ。



■ストレスの解消

ペダルを回しているときは無心になれます。嫌なことや悩みごとを忘れられる時間が、一日の中に少しでもあるといいですよ。身も心もリフレッシュできますよ！

■健康に良い

徒歩で行くには少し遠いとき、つい車を利用しがちですよね。でも、自転車なら大丈夫。ちょっと汗ばむぐらいが、とっても気持ちいい！運動はしたいけど、ランニングはちょっと…という人にもおすすめです。ダイエット効果も期待できるかも。

■環境を考える

自転車に乗ると、普段の景色がいつもとは違って見えます。つい見落としがちな身近な自然の大切さを、五感を使って感じるすることができます。

車やバイクに抜かれてもお構いなし。クリーンな自転車に乗っているエコな自分に、むしろ誇らしささえ感じます。

■新品じゃなくても

「乗りたいけど自転車がない!」「ちょっと乗るのに新品はもったいない!」そんなあなたには、リサイクルショップがおすすめです。なかなか良い品が置いてありますよ。リサイクルセンターにある「ぶらめらん」でも販売中!

ちなみに私の自転車は息子のおさがりです。これもエコですね。

ごみ焼却処理施設の改修 その6

清掃課施設係 ☎(64) 3304

ごみ減量化、大きな効果!

焼却処理施設の改修に伴い、昨年4月からご協力をお願いしている、ごみの減量化についての実績を報告します。

特に9～10月は全量を外部委託で処理していましたが、その節減効果は2カ月間で約2,600万円になりました。市民の皆さまには深く感謝します。

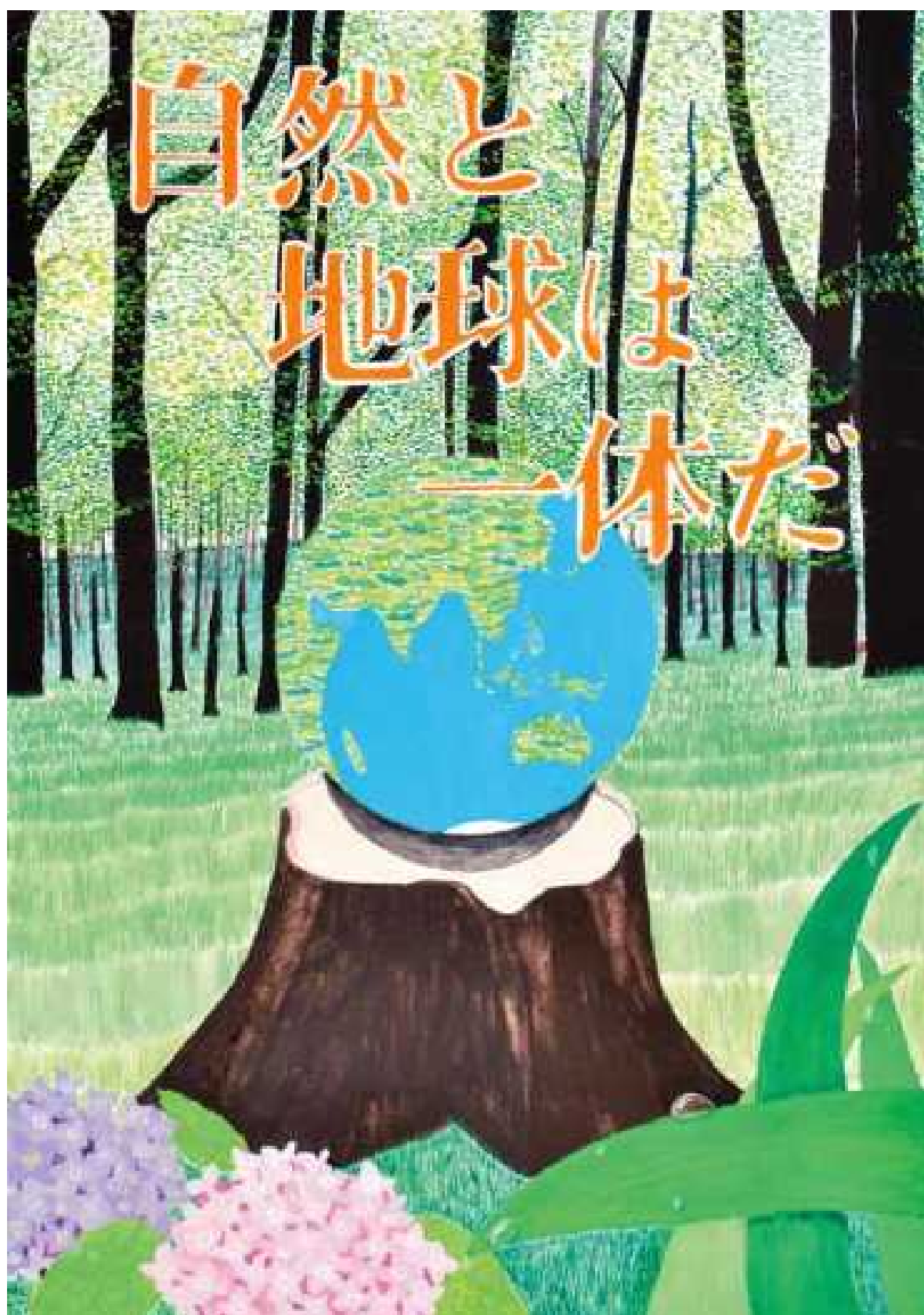
2月中旬からは2炉運転を開始しました。改修工事は3月で完了しますが、今後もごみの減量化に積極的なご協力をお願いします。

燃やすごみ処理量(4月～12月)

昨年度	19,429 t
今年度	18,669 t
増減	△760 t
減少率	3.9%



平成 27 年度森林愛護ポスターコンクール 最優秀賞作品（小学生の部）



平成 27 年度森林愛護ポスターコンクール 最優秀賞作品（中学生の部）

環境都市宣言

わたしたちは、鹿沼市のきれいな水と緑に恵まれて、豊かな心を育ててきました。

しかし、便利な暮らしを求めるために限りある資源を使い、こころない人が不法投棄をするなど、わたしたちの自然はおびやかされています。

21世紀になって、わたしたち鹿沼市民は、環境の保全について基本的な考え方をみんなでもとめあげ、きれいなまちづくりを進めているところです。

わたしたちは、共に生きる自然を守りながら、地球の恵みを未来に引き継ぐことを誓い、ここに鹿沼市を「環境都市」とすることを宣言します。

平成16年1月1日

「かぬまの環境」 第3次鹿沼市環境基本計画 平成27年度実績報告書

平成28年10月 発行

編集・発行 鹿沼市 環境部 環境課 総務係

〒322-0045 鹿沼市上殿町695-7

TEL 0289-64-3194

FAX 0289-65-5766

E-mail kankyo@city.kanuma.lg.jp